

**まちづくり3ヵ年計画**

# **第1次実施計画**

**平成29年度～平成31年度**

**第2次串本町長期総合計画**

**串本町**



## 目 次

串本町実施計画策定の基本方針	1
施策体系別計画	3
基本目標Ⅰ 安全・安心のまち	5
1 災害に強いまちづくりの推進	7
2 生活の安心安全体制の充実	22
3 住宅環境の整備	28
4 地域交通網の充実	32
5 水道施設の整備	38
6 ICT基盤の整備促進	41
基本目標Ⅱ 健やかで笑顔あふれるまち	47
1 地域医療・保健・福祉の充実	49
2 高齢化社会への対応	64
3 出会い・結婚支援	72
4 出産・子育て支援	74
基本目標Ⅲ 郷土愛あふれる教育のまち	89
1 学校教育の充実	91
2 生涯教育・スポーツの推進	97
3 青少年健全育成の推進	104
4 文化交流の推進	106
5 歴史・文化・芸術の振興	108
基本目標Ⅳ いきいきと活力あふれるまち	111
1 農林水産業の活性化	113
2 商業・産業の活性化	123
3 観光振興による地域経済活性化	130
4 UIJターン串本暮らしの推進	137
5 地域資源を活かした交流の推進	138
6 若者の就職支援と後継者育成	141

基本目標Ⅴ 自然と共生やさしいまち	143
1 循環型社会の形成促進	145
2 環境保全対策の推進	148
基本目標Ⅵ 手を取りあい共に歩むまち	153
1 町民協働のまちづくり推進	155
2 人権尊重・男女共同参画社会の形成	158
3 時代に合った効率的な行政運営	162
各課別事業一覧	165
企画課	167
総務課	168
産業課	169
教育課	170
福祉課	171
こども未来課	172
住民課	173
建設課	174
水道課	175
税務課	176
消防本部	177
くしもと町立病院	178

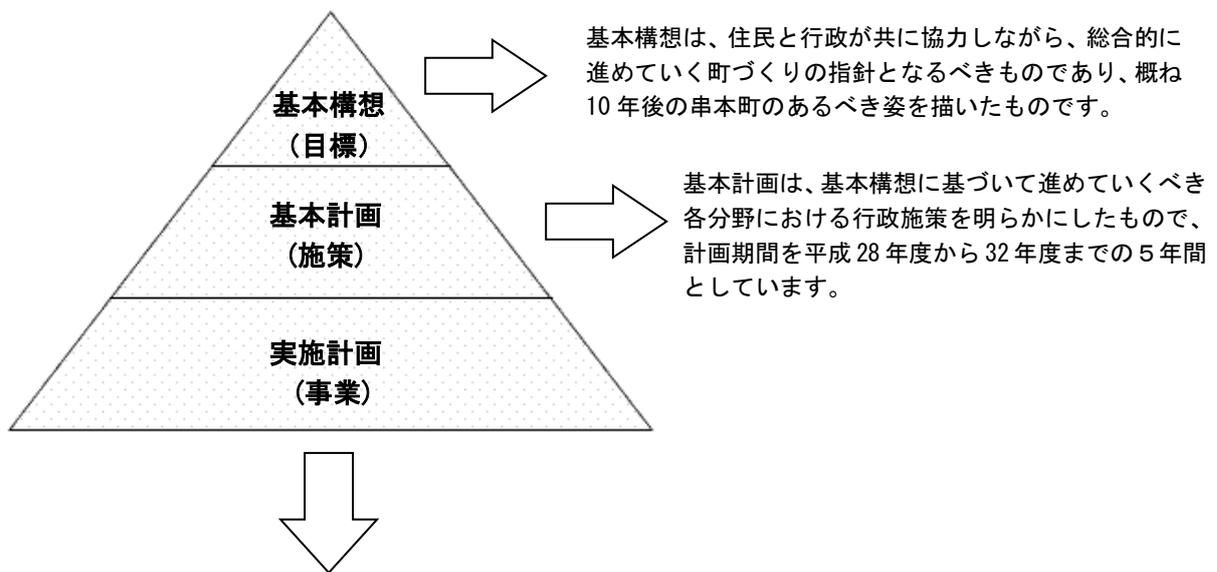
# 串本町実施計画策定の基本方針

## 1. 実施計画策定の目的

この実施計画は、「串本町長期総合計画」の中で「基本計画」として掲げた諸施策及び「串本町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく諸施策を計画的・効果的に実施するために、事業内容や実施年度などを具体化し、計画期間における事業展開を明らかにするために策定するものです。

## 2. 実施計画の位置づけ

実施計画は、町の総合計画（基本構想、基本計画、実施計画によって構成される）の中で、次のとおり位置づけられます。



実施計画は、基本計画に示した基本的方向・目標や施策展開に基づいて、計画期間に実施する主要な事業を示す計画です。実施計画は、3カ年の具体的な施策事業の計画として予算編成や事業実施の指針としての役割をもっています。

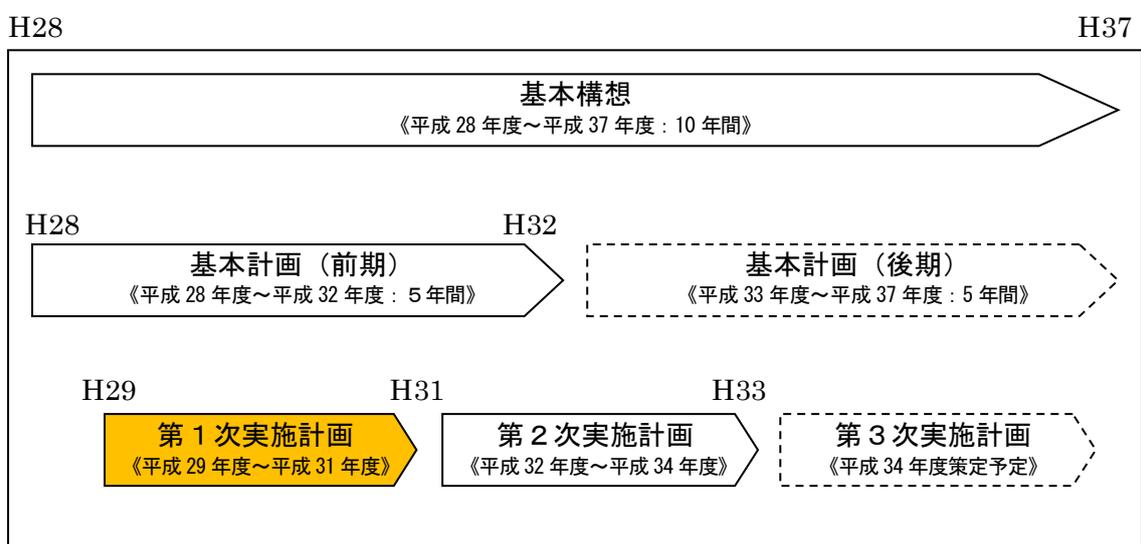
- 1) 第1次実施計画の計画期間は平成29年度から平成31年度までの3年間とし、事業量や事業費を可能な限り年次別に明示し、主要な施策の道筋を明らかにします。
- 2) 今後3カ年の財政収支の予測を行い、計画事業の実現性を確保します。
- 3) 串本町まち・ひと・しごと創生総合戦略を強く推し進めることにより、地域経済を豊

かにし、人口の増加につなげていく必要があります。

4) 計画としての一貫性を保ちながら、社会経済情勢の変化に的確に対応するため、平成31年度に第2次実施計画（平成32～34年度）として改定を行います。

### 3. 実施計画の期間

第1次実施計画の計画期間は平成29年度（2017年度）から平成31年度（2019年度）までの3年間です。基本構想及び基本計画の計画期間との相関関係は下図のとおりとなります。



### 4. 実施計画の対象とする事業

実施計画は、町の財政負担を伴う主要な事業を対象とします。ただし、財政負担を伴わない事業の中でも、町づくりの推進姿勢を明らかにするために事業展開を示す必要があると考えられるものについては、計画の中へ盛り込むこととします。

# 施作体系別計画

## この章の見方

- ・「第2次串本町長期総合計画」の「基本計画」に示された施策順に事業を掲載しています。
- ・事業年度を次のように表しています。

事業年度	»	29	30	31	»
------	---	----	----	----	---

※○印のついている年度は事業を実施する年度です。また 

»
---

 は実施計画期間以前から実施している事業、あるいは実施計画終了後も継続することを表しています。

- ・担当課名は平成29年度の名称で表示しています。
- ・各事業の事業費については、計画策定段階における概算額であり、実際の各年度の予算額及び決算額とは必ずしも一致しません。
- ・「まち・ひと・しごと創生総合戦略」との関連性については、一・一・一 の下段「総合戦略での成果目標」及び「総合戦略での事業の位置づけ」に記載しています。
- ・「達成状況」及び「達成度」については、平成31年度が終了した時点で評価し記入します。達成度評価については以下を予定しています。

### 【成果目標達成度】

- 0% . . . . . 目標達成に向けた検討を行うことができなかった。
- 25% . . . . . 目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。
- 50% . . . . . 目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。
- 75% . . . . . 目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。
- 100% . . . . . 目標通り達成できた。



# 基本目標Ⅰ

## 安全・安心のまち

基本目標Ⅰ	1	災害に強いまちづくりの推進
	2	生活の安心安全体制の充実
	3	住宅環境の整備
	4	地域交通網の充実
	5	水道施設の整備
	6	ICT基盤の整備促進

### まち・ひと・しごと創生総合戦略上の主要対象項目

1. 安全で安心な時代に合ったまちをつくる	①自然災害対策の充実
	③地域交通網の充実
	④ICT基盤の整備促進



					基本目標 I	安全・安心のまち
					1	災害に強いまちづくりの推進
事業年度	》	29	30	31	》	防災対策ハード面の充実
事業名	避難路整備事業					
所管	総務課					

●事業の内容

目的	大規模な地震津波災害が発生した場合に、住民を安全に避難させるために必要な避難路の整備を行う。	
事業の概要	各地区からの要望について建設課等関係課と協議を行い、実施箇所を選定して避難路整備を行う。	
成果目標	H31年度までに避難路整備数を185件とする。 (H28年度132件)	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		17,410	23,000	23,000	63,410
財源見込	国・県支出金	8,700	11,500	11,500	31,700
	一般財源	510	600	600	1,710
	その他	8,200	10,900	10,900	30,000

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
避難路整備数 113(H26) → 185(H31)	

●総合戦略での事業の位置づけ

1. 安全で安心な時代にあったまちをつくる	①自然災害対策の充実
-----------------------	------------

基本目標 I	安全・安心のまち
1	災害に強いまちづくりの推進
防災対策ハード面の充実	

事業年度	⌋	29	30	31	⌋
------	---	----	----	----	---

事業名	西向避難路整備事業
所管	総務課

●事業の内容

目的	災害時に住民が円滑により早く避難することができる安全な避難路を整備する。	
事業の概要	西向区 上ヶ地地区に県道から避難場所へ避難できる道路を整備する。	
成果目標	H29年度に用地購入を完了、避難路整備事業を実施する。	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費	20,100	-	-	20,100
財源見込	国・県支出金			10,050
	一般財源	550		550
	その他	9,500		9,500

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
――	

●総合戦略での事業の位置づけ

1. 安全で安心な時代にあったまちをつくる	①自然災害対策の充実
-----------------------	------------

基本目標 I	安全・安心のまち
1	災害に強いまちづくりの推進
防災対策ハード面の充実	

事業年度	⌋	29	30	31	⌋
------	---	----	----	----	---

事業名	田並地区防災拠点施設整備事業
所管	総務課

●事業の内容

目的	災害時に一時的な避難生活ができる施設を整備することにより住民の安全を確保する。	
事業の概要	田並上地区に津波浸水区域住民が避難できる避難路および避難施設の整備。 H30年度 用地購入、避難路整備 H31年度 建設	
成果目標	H30年度に用地購入を完了して避難路を整備、防災拠点施設事業を実施する。	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	計	
事業費	35,000	110,560	42,000	187,560	
財源見込	国・県支出金	11,600	55,186	21,000	87,786
	一般財源	1,170	2,874	1,100	5,144
	その他	22,230	52,500	19,900	94,630

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
――	

●総合戦略での事業の位置づけ

1. 安全で安心な時代にあったまちをつくる	①自然災害対策の充実
-----------------------	------------

基本目標 I	安全・安心のまち
1	災害に強いまちづくりの推進
防災対策ハード面の充実	

事業年度	⌵	29	30	31	⌵
------	---	----	----	----	---

事業名	公共施設(庁舎)高台移転
所管	総務課

●事業の内容

目的	自然災害対策として、ハード(施設)面の対策を行い、災害発生時の中枢機能を果たす防災拠点を整備する。	
事業の概要	現役場庁舎における施設・設備の老朽化、分庁方式による行財政運営での非効率面、そして耐震性・安全面の問題、さらに津波による浸水や倒壊の危険性等、現庁舎が抱える様々な問題を改善しなければならない。 また、合併協議における庁舎建設に係る方針に示されている地震・津波など災害発生時の中枢管理機能を果たす拠点として、その後の復旧・復興の拠点となるべく耐震性・安全性に優れ、防災設備及び防災対策の体制が充実した新庁舎を建設する。	
成果目標	庁舎建設基本構想を基に、津波被害を受けない安全な高台への移転を行う。 H32年度 竣工を目標とする。 H30年度 基本設計・実施設計 H31年度 用地取得	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費	4,459	112,331	225,996	342,786
財源見込	国・県支出金	1,126		1,126
	一般財源	3,333	5,631	11,396
	その他		106,700	214,600

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
概ね10年以内(~H36)	

●総合戦略での事業の位置づけ

1. 安全で安心な時代に合ったまちをつくる	①自然災害対策の充実
-----------------------	------------

基本目標Ⅰ	安全・安心のまち
基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
1	災害に強い町づくりの推進
4	出産・子育て支援
防災ハード面の充実/子育て環境支援	

事業年度	»	29	30	31	»»
------	---	----	----	----	----

事業名	認定こども園新設事業
所管	こども未来課

### ●事業の内容

目的	現在の園舎は近い将来発生が予測される東海・東南海・南海地震の津波により甚大な被害が予測される地域に立地しており、園児の安全確保のため高台への移転が必要となっている。併せて近年の多様な保育の要望に対応する為の保育環境の整備も求められているため、認定こども園の新築移転を目的とする。
事業の概要	H29年度に現保育所、幼稚園を統合し、認定こども園を開園。今後は地震、津波対策として、また待機児童の一層の解消を目指した高台への新設移転を行う。用地の検討、購入、及び関係機関との調整。基本・実施設計等の予算計上、工程表の作成を行っていく。
成果目標	H30.31年度、基本設計・実施設計 H32年度、用地購入・建築、H33年度中開園を目標としているが、用地や道路の進捗状況により、時期の見直しが必要となる可能性がある。
達成状況	達成度

### ●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		-	42,753	42,754	85,507
財源見込	国・県支出金				
	一般財源		22,753	54	22,807
	その他		20,000	42,700	62,700

### ●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
認定こども園の高台移転(概ね10年以内)	H29年12月

### ●総合戦略での事業の位置づけ

1. 安全で安心な時代に合ったまちをつくる	①自然災害対策の充実
2. 若い世代に優しいまちをつくる	②出産・子育て・教育支援

基本目標 I	安全・安心のまち
1	災害に強いまちづくりの推進
防災対策ハード面の充実	

事業年度	》	29	30	31	》
------	---	----	----	----	---

事業名	農村地域防災減災事業
所管	産業課

●事業の内容

目的	農業用ため池について長期の経年の供用により老朽化が進行しているものがある。近く発生が予測される南海・東南海地震や近年の異常気象によるため池の決壊により下流域への甚大な被害をおよぼす懸念があるため危険度の高い改修し地域の安全性を向上し農業の活性化を図る。	
事業の概要	受益面積5ha以上の溜池について、堤体等の改修及び受益戸数が0の溜池について廃止に向けた整備を実施する。	
成果目標	ため池の改修 東谷池 H31完成 ため池の廃止 大船池、岩淵大池 H32完了	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費	2,200	7,000	18,800	28,000
財源見込	国・県支出金		5,400	5,400
	一般財源	300	700	7,300
	その他	1,900	6,300	6,100
				14,300

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
――	

●総合戦略での事業の位置づけ

1. 安全で安心な時代にあったまちをつくる	①自然災害対策の充実
-----------------------	------------

基本目標 I	安全・安心のまち
1	災害に強いまちづくりの推進
防災対策ソフト面の充実	

事業年度	》	29	30	31	》
------	---	----	----	----	---

事業名	大規模防災訓練の実施
所管	総務課

●事業の内容

目的	南海トラフ巨大地震や大津波による広域かつ甚大な被害が予想されることから、住民や関係機関等による合同訓練を実施することにより大規模災害に備える。	
事業の概要	各地区や町内小中学校、官公署等連絡協議会等と協力しながら、地域の実情に即したより実践的な訓練を実施する。	
成果目標	年間2回実施する。	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費	-	-	-	-
財源見込	国・県支出金			
	一般財源			
	その他			

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
大規模防災訓練実施 2回実施/年	

●総合戦略での事業の位置づけ

1. 安全で安心な時代にあったまちをつくる	①自然災害対策の充実
-----------------------	------------

基本目標 I	安全・安心のまち
1	災害に強いまちづくりの推進
防災対策ソフト面の充実	

事業年度	⌋	29	30	31	⌋
------	---	----	----	----	---

事業名	防災出前講座事業
所管	総務課

●事業の内容

目的	防災は日頃からの心構えと備えが重要であることから、学習会等の啓発活動により防災に対する住民の意識を高め維持してもらうことを目的とする。	
事業の概要	担当職員が、各地区・自主防災組織・学校・事業所・公民館・老人会・地域活動団体等を訪問して学習会を開催、啓発活動を行う。	
成果目標	年間20回以上開催	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費	-	-	-	-
財源見込	国・県支出金			
	一般財源			
	その他			

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
出前講座「地震・津波に備えて」20回以上開催/年	

●総合戦略での事業の位置づけ

1. 安全で安心な時代にあったまちをつくる	①自然災害対策の充実
-----------------------	------------

基本目標 I	安全・安心のまち
1	災害に強いまちづくりの推進
防災対策ソフト面の充実	

事業年度	⌵	29	30	31	⌵
------	---	----	----	----	---

事業名	防災行政無線同報系戸別受信機普及推進事業
所管	総務課

●事業の内容

目的	屋内で受信できる戸別受信機を各世帯に貸与することにより、災害情報や行政情報等をいち早く確実に知らせることを目的とする。	
事業の概要	町内に住民票を置く世帯に1台を無償で貸与する。H25年度からH27年度まで各戸に申請用紙を配布しており、今後は啓発活動や広報により、多くの世帯への普及に努める。	
成果目標	普及率70%を目標とする。	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
財源見込	事業費	-	-	-	-
	国・県支出金				
	一般財源				
	その他				

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
普及率 70%(5年以内)	平成29年12月

●総合戦略での事業の位置づけ

1. 安全で安心な時代にあったまちをつくる	①自然災害対策の充実
-----------------------	------------

基本目標 I	安全・安心のまち
1	災害に強いまちづくりの推進
防災対策ソフト面の充実	

事業年度	⌵	29	30	31	⌶
------	---	----	----	----	---

事業名	家具転倒防止器具取付事業
所管	総務課

●事業の内容

目的	南海トラフ地震の震源域から近く激しい揺れが起こることが予想されていることから、家庭でできる最も身近な減災対策である家具固定について、自身による作業が困難である高齢者等の要配慮者を対象として実施、住民の安全を図る。	
事業の概要	対象を65歳以上のみの世帯、障害者手帳等を持つ方として、タンスや冷蔵庫など1世帯あたり5組以内の家具固定を無料で実施する。(取付については委託業務)	
成果目標	取付実績を1,000世帯(H31年)とする。	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		380	380	380	1,140
財源見込	国・県支出金	190	190	190	570
	一般財源	190	190	190	570
	その他				

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
家具転倒防止器具取付実績 930世帯(H26) → 1,000世帯(H31)	

●総合戦略での事業の位置づけ

1. 安全で安心な時代にあったまちをつくる	①自然災害対策の充実
-----------------------	------------

基本目標 I	安全・安心のまち
1	災害に強いまちづくりの推進
防災対策ソフト面の充実	

事業年度	⌋	29	30	31	⌋
------	---	----	----	----	---

事業名	ブロック塀等撤去改善補助事業
所管	総務課

●事業の内容

目的	大規模な地震津波災害が発生した場合に、ブロック塀等が倒壊して道路を塞ぐことを防ぎ、住民が安全に避難できる避難経路を確保する。	
事業の概要	町内道路に面したブロック塀及び土地所有者を対象として、ブロック塀等撤去費の9割、撤去後に生垣等を整備する場合は整備費の5割を補助する。	
成果目標	年間12件実施(H30年度以降は10件) H31年度までに116件とする。 (H28年度14件実施 合計84件)	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		6,000	5,000	5,000	16,000
財源見込	国・県支出金	3,000	2,500	2,500	8,000
	一般財源	3,000	2,500	2,500	8,000
	その他				

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
――	

●総合戦略での事業の位置づけ

1. 安全で安心な時代にあったまちをつくる	①自然災害対策の充実
-----------------------	------------

基本目標 I	安全・安心のまち
1	災害に強いまちづくりの推進
防災対策ソフト面の充実	

事業年度	⌵	29	30	31	⌶
------	---	----	----	----	---

事業名	自主防災組織活動支援事業
所管	総務課

●事業の内容

目的	災害発生直後は公的機関による被害者支援等に限界があり、地域住民一人ひとりが「自分たちの地域は自分たちで守る」という共助の取組みが大変重要であることから、各地区で自主防災組織を結成することにより地震や風水害など災害時に地域住民が相互に助け合い、被害の防止及び軽減を図ることを目的とする。	
事業の概要	各地区で自主防災組織活動についての説明や助言を行うなどの支援を行い、町内全域での組織化を図る。	
成果目標	組織率を100%とする。	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		7,600	7,600	7,600	22,800
財源見込	国・県支出金	3,800	3,800	3,800	11,400
	一般財源				
	その他	3,800	3,800	3,800	11,400

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
組織率 98.11%(H26) → 100%(H31)	

●総合戦略での事業の位置づけ

1. 安全で安心な時代にあったまちをつくる	①自然災害対策の充実
-----------------------	------------

基本目標 I	安全・安心のまち
1	災害に強いまちづくりの推進
耐震診断及び耐震改修の強化	

事業年度	⌵	29	30	31	⌶
------	---	----	----	----	---

事業名	公共建築物耐震診断及び耐震改修事業
所管	総務課

●事業の内容

目的	公共施設は多数の利用者が見込まれるほか、地震災害の発生時には災害応急対策の実施拠点や避難場所・避難所になるなど防災拠点としても重要な役割を果たしていることから、指定避難所となっている公共施設等について耐震診断と耐震改修を実施する。	
事業の概要	地域防災計画における指定避難場所や指定避難所など、防災拠点となる公共施設等について耐震診断と耐震改修を実施する。(H28現在 48件中42件済 87.5%)	
成果目標	防災拠点となる公共施設の耐震化 100%	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費	3,378	3,000	3,000	9,378
財源見込	国・県支出金	1,689	1,500	4,689
	一般財源	1,689	1,500	4,689
	その他			

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
防災拠点となる公共建物の耐震化 100%(5年以内)	

●総合戦略での事業の位置づけ

1. 安全で安心な時代にあったまちをつくる	①自然災害対策の充実
-----------------------	------------

基本目標 I	安全・安心のまち
1	災害に強いまちづくりの推進
耐震診断及び耐震改修の強化	

事業年度	⌵	29	30	31	⌵
------	---	----	----	----	---

事業名	一般住宅耐震診断補助事業
所管	総務課

●事業の内容

目的	南海トラフ地震の震源域から近く激しい揺れが起こることが予想されており、昭和56年5月以前に建築された木造住宅の被害が大きいという阪神淡路大震災の調査結果から、地震から住民の命を守り家族や近隣住民が迅速に避難できるよう木造住宅の地震に対する安全性の向上を図り、地震に強い町づくりを進める。	
事業の概要	昭和56年5月31日以前に建築された町内にある住宅を対象として、耐震診断を実施する。木造住宅は全額補助。非木造住宅については2/3補助(上限89千円)、1/3は自己負担とする。(※H29年度より木造住宅についてはH12年5月31日以前に建築された住宅が対象となる。)	
成果目標	年間20戸以上を目標とする。	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費	1,147	1,147	1,147	3,441
財源見込	国・県支出金	858	858	2,574
	一般財源	289	289	867
	その他			

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
耐震診断 20戸以上/年	H29年12月

●総合戦略での事業の位置づけ

1. 安全で安心な時代にあったまちをつくる	①自然災害対策の充実
-----------------------	------------

基本目標 I	安全・安心のまち
1	災害に強いまちづくりの推進
耐震診断及び耐震改修の強化	

事業年度	》	29	30	31	》
------	---	----	----	----	---

事業名	一般住宅耐震改修補助事業
所管	総務課

●事業の内容

目的	南海トラフ地震の震源域から近く激しい揺れが起こることが予想されており、昭和56年5月以前に建築された木造住宅の被害が大きいという阪神淡路大震災の調査結果から、地震から住民の命を守り家族や近隣住民が迅速に避難できるよう木造住宅の地震に対する安全性の向上を図り、地震に強い町づくりを進める。	
事業の概要	昭和56年5月31日以前に建築された町内にある住宅を対象として、耐震診断により耐震性がないと診断された住宅の耐震補強設計及び耐震改修工事費を補助する。 (※H29年度より木造住宅についてはH12年5月31日以前に建築された住宅が対象となる。)	
成果目標	耐震改修 3戸以上/年(H31年度以降は 6戸以上/年)	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	計	
事業費	3,396	3,000	6,000	12,396	
財源見込	国・県支出金	1,611	1,245	2,490	5,346
	一般財源	1,785	1,755	3,510	7,050
	その他				

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
耐震改修 3戸以上/年	H29年12月

●総合戦略での事業の位置づけ

1. 安全で安心な時代にあったまちをつくる	①自然災害対策の充実
-----------------------	------------

基本目標 I	安全・安心のまち
2	生活の安心安全体制の充実
消防施設・設備の充実	

事業年度	②	②9	③0	③1	③
------	---	----	----	----	---

事業名	消防施設整備事業
所管	消防本部

●事業の内容

目的	串本町消防本部、串本町消防団の資機材については、第1次長期総合計画で老朽化した資機材の更新を実施してきたところであるが、第2次長期総合計画における第1次実施計画についても引き続きポンプ車、小型動力ポンプを更新し地域の消防力の強化を図る。	
事業の概要	予算を有効に活用し、消防署配備消防ポンプ自動車(小型動力ポンプ軽積載車含む)、小型動力ポンプにあつては15年、消防団配備消防ポンプ自動車(小型動力ポンプ軽積載車含む)、小型動力ポンプにあつては20年を目処に更新配備し消防力の維持を図る。	
成果目標	H29年度 消防ポンプ自動車2台、軽積載車1台 H30年度 消防ポンプ自動車1台、小型動力ポンプ2基、小型動力ポンプ軽積載車2台 消防普通積載車1台、潜水隊用資機材一式 H31年度 消防本部指令車1台、小型動力ポンプ2基、小型動力ポンプ軽積載車1台 消防ポンプ自動車1台、小型動力ポンプ普通積載車1台	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		61,000	35,000	32,400	128,400
財源見込	国・県支出金				
	一般財源	1,000	7,000	4,000	12,000
	その他	60,000	28,000	28,400	116,400

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
_____	

●総合戦略での事業の位置づけ

1. 安全で安心な時代に合ったまちをつくる	①自然災害対策の充実
-----------------------	------------

基本目標 I	安全・安心のまち
2	生活の安心安全体制の充実
消防施設・設備の充実	

事業年度	⌵	29	30	31	⌶
------	---	----	----	----	---

事業名	消防水利整備事業
所管	消防本部

●事業の内容

目的	「消防力の整備指針」に則った消防水利の基準を元にし、断水時における水利状況、建物・人口密集地域等を熟考。用地確保場所の選定を進め、震災により被害想定が大とされる地域を重点に、改修、更新をし震災に耐えうる防火水槽の整備を行うとともに、民家密集地及び老朽化消防水利の整備を目的とする。	
事業の概要	消火栓の民家密集地への適正配備を行い、漏水等による消火栓の改修を行っていく。震災時に懸念される火災には、大規模地震にも耐えうる防火水槽が必需となるため、今後耐震防火水槽の整備を検討する。	
成果目標	効果、効率的な防火対策のため、全町的な適正配置・整備に努める。 年間5基程度	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		2,400	4,000	4,000	10,400
財源見込	国・県支出金				
	一般財源	2,400	4,000	4,000	10,400
	その他				

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
_____	

●総合戦略での事業の位置づけ

1. 安全で安心な時代に合ったまちをつくる	①自然災害対策の充実
-----------------------	------------

基本目標 I	安全・安心のまち
2	生活の安心安全体制の充実
消防組織体制の充実	

事業年度	》	29	30	31	》
------	---	----	----	----	---

事業名	消防団活性化事業
所管	消防本部

●事業の内容

目的	消防組織法に基づき設置されている消防団は地域防災の要であり力である。最近の動向としては、団員は減少傾向にあり、団を上げて増員に向け鋭意努力をしているところであるが、結果に至らない現状である。今後共に、粘り強く団員の増員に努力すると共に、特に女性消防団員の普及に取り組み、地域の防災力の維持と充実強化を図る。
事業の概要	企業や消防団員を通じて、女性消防団員を募集。イベント等に積極的に出向いての広報活動、リーフレットや広報媒体を活用し消防団への加入促進を図る。また同時に、より効率、効果的な防災力を目指し消防団の再編等を深慮。限られた人員で最大限の効果を発揮できるよう事業を行う。
成果目標	効果、効率的な地域防災力維持のため、消防団員の増員を図り、全町的な適正配置に努め、高い事業効果を得る。 女性消防団員 16名(H31年度までに)
達成状況	達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		5,729	5,729	5,729	17,187
財源見込	国・県支出金				
	一般財源	5,729	5,729	5,729	17,187
	その他				

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
女性消防団員 8名(H26) → 16名(H31)	

●総合戦略での事業の位置づけ

1. 安全で安心な時代に合ったまちをつくる	①自然災害対策の充実
-----------------------	------------

基本目標 I	安全・安心のまち
2	生活の安心安全体制の充実
交通安全対策の推進	

事業年度	⌵	29	30	31	⌶
------	---	----	----	----	---

事業名	交通安全対策整備事業
所管	建設課

●事業の内容

目的	視認性の悪い道路箇所への道路反射鏡の設置や、老朽化した道路反射鏡の修繕を実施し、通行の安全を図る。 また、転落・落下の危険性がある箇所については、防護柵を設置し通行者の安全を図るとともに、区画線の整備を行う。	
事業の概要	区画線、防護柵、道路反射鏡の交通安全施設の整備	
成果目標	交通安全施設整備の促進 H31年度までに交通安全施設の整備を実施。 防護柵整備 L=140m 道路反射鏡整備 N=15基 道路区画線整備 L=900m	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費	4,500	4,500	4,500	13,500
財源見込	国・県支出金			
	一般財源	4,500	4,500	4,500
	その他			

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
——	

●総合戦略での事業の位置づけ

——	——
----	----

基本目標 I	安全・安心のまち
2	生活の安心安全体制の充実
交通安全対策の推進	

事業年度	⌵	29	30	31	⌵
------	---	----	----	----	---

事業名	交通安全運動啓発事業
所管	総務課

●事業の内容

目的	交通安全及び交通事故防止の観点から、町民の交通安全に対する意識向上を図る。	
事業の概要	交通安全運動啓発 四季の交通安全啓発運動 毎月1日、15日の交通安全街頭指導	
成果目標	交通事故の件数について、対前年数値の減少を目標にして事業を展開していくとともに、警察と連携を密にしながら、啓発活動を行う。	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		1,606	1,606	1,606	4,818
財源見込	国・県支出金				
	一般財源	1,606	1,606	1,606	4,818
	その他				

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
——	

●総合戦略での事業の位置づけ

——	——
----	----

基本目標 I	安全・安心のまち
2	生活の安心安全体制の充実
防犯対策の推進	

事業年度	⌋	29	30	31	⌋
------	---	----	----	----	---

事業名	防犯灯設置・修繕補助事業
所管	総務課

●事業の内容

目的	夜間における歩行者の安全確保と犯罪発生を防止を図り、安心して快適なまちづくりを進める。	
事業の概要	町内各地区で整備・修繕した防犯灯等及び電気料金について、2分の1を補助する。	
成果目標	年間設置個数 11件	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		5,300	5,400	5,400	16,100
財源見込	国・県支出金				
	一般財源	5,300	5,400	5,400	16,100
	その他				

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
――	

●総合戦略での事業の位置づけ

――	――
----	----

基本目標 I	安全・安心のまち
3	住宅環境の整備
公営住宅整備の促進	

事業年度	》	29	30	31	》
------	---	----	----	----	---

事業名	公営住宅の建替事業及び長寿命化事業
所管	総務課

●事業の内容

目的	公営住宅等長寿命化計画に基づき、効率的な維持管理を継続し、長寿命化及びライフサイクルコストの縮減を図る。	
事業の概要	小規模団地の点在、老朽化、居住水準の低下及び高齢化等対応への機能不足がみられる状態にあるため、公営住宅等長寿命化計画に基づき、建替・耐震化・改善・廃止を進める。	
成果目標	計画的な事業実施を行う。 建替：(H29)前地町営住宅建替事業 耐震化：(H29)大島田代団地 改善：(H30)西向団地外壁改善 (H30)大浦団地屋上防水 (H30)S53前地改良団地外壁改善 (H31)S56前地団地外壁改善 廃止：(H29)尾ノ浦団地1棟取壊し (H30)大島引揚住宅解体工事	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	計	
事業費	241,375	48,800	15,000	305,175	
財源見込	国・県支出金	105,291	22,000	7,500	134,791
	一般財源	79,084	26,800	7,500	113,384
	その他	57,000			57,000

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
—	

●総合戦略での事業の位置づけ

1. 安全で安心な時代に合ったまちをつくる	①自然災害対策の充実
-----------------------	------------

基本目標 I	安全・安心のまち
3	住宅環境の整備
公営住宅整備の促進	

事業年度	》	29	30	31	》
------	---	----	----	----	---

事業名	有田大山住宅建替事業
所管	総務課

●事業の内容

目的	紀勢自動車道建設に伴い、有田大山団地(H21年度建設)が立退きなるため、近隣の代替地に新たな住宅を建設し、入居者の居住の安定を図ることを目的とする。	
事業の概要	紀勢自動車道建設による立退きによるため、新たな住宅は国からの移転補償金等で建設する。 現在建設されている有田大山団地は南海トラフ巨大地震の津波浸水区域に建設されているため、代替地については浸水区域外に建設を行う。 H29年度 不動産鑑定評価 H30年度 造成・建設	
成果目標	住宅は安全性を考慮し、入居者には安心感をもって居住してもらう。 木造平屋4戸を建設する。	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		408	113,400	-	113,808
財源見込	国・県支出金				
	一般財源	408			408
	その他		113,400		113,400

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
――	

●総合戦略での事業の位置づけ

1. 安全で安心な時代にあったまちをつくる	①自然災害対策の充実
-----------------------	------------

					基本目標 I	安心・安全のまち
					3	住宅環境の整備
事業年度	⋯	29	30	31	⋯	空き家等対策の推進
事業名	空き家情報の収集					
所管	住民課					

●事業の内容

目的	町民の生活環境の保全を図るとともに、空き家等の利活用の促進等、地域活性化へつなげていくことを目的とし、「快適なまち」「安全で安心なまち」「活気のあるまち」を目指す。	
事業の概要	空き家の発生抑制のため所有者等に適切な管理を促すとともに、意識啓発及び地域住民の問題意識の醸成を目的とした情報提供等の周知啓発に努める。また、地域資源としてとらえU・Iターン希望者等への定住促進対策、体験型観光等の観光者への宿泊施設、地域住民の交流の場(地域コミュニティ施設など)等への利活用を検討し、地域活性化へつながるような取組みの推進に努める。 推進体制の整備として、庁内をはじめ所有者等、町民、関係機関、民間業者などとの連携を強化しながら地域全体で協働できる推進体制を整備する。	
成果目標	特定空き家所有者への指導・助言等の実施 Uターン・Iターン者の定住促進事業として空き家の利活用を検討する。	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		-	-	-	-
財源見込	国・県支出金				
	一般財源				
	その他				

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
――	

●総合戦略での事業の位置づけ

3. 串本町へ新しい人の流れをつくる	①U・Iターン串本暮らしの推進
--------------------	-----------------

基本目標 I	安全・安心のまち
3	住宅環境の整備
空き家等対策の推進	

事業年度	》	29	30	31	》
------	---	----	----	----	---

事業名	空き家利活用の推進事業
所管	産業課

●事業の内容

目的	H27年度に庁内各課(住民・建設・産業・総務・企画・税務課)により空家等対策検討委員会を立ち上げ、外観調査を実施するとともに串本町空き家等対策基本計画を策定している。この計画を基として、空き家の現況を把握し、町民の生活環境の保全を図るとともに空き家等の利活用の促進により地域の活性化へつなげていくことを目的とする。	
事業の概要	空き家現況調査に基づき管理空き家について所有者等に空き家バンクへの登録を紹介し、移住希望者等に空き家バンク物件の紹介を行い活用を推進する。	
成果目標	空き家の利活用 空き家バンクへの登録 10件/年間	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		-	-	-	-
財源見込	国・県支出金				
	一般財源				
	その他				

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
_____	

●総合戦略での事業の位置づけ

3. 串本町へ新しい人の流れをつくる	①U・Iターン串本暮らしの推進
--------------------	-----------------

					基本目標 I	安全・安心のまち
					4	地域交通網の充実
事業年度	⌋	29	30	31	⌋	交通手段の維持と利便性向上
事業名	コミュニティバス運行事業					
所管	企画課					

●事業の内容

目的	串本町コミュニティバスを運行することにより、串本町民等の交通手段の確保と住民福祉の向上を資すること。	
事業の概要	町直営として運行は民間事業所に委託し全路線(佐部・上田原線、大島・出雲線、潮岬線、和深線)がくしもと町立病院を起点にJR串本駅を経由する路線としている。 乗車1回の料金は高校生以上が200円、町内在住の中学生以下は無料、障害者手帳等を所持している方などは100円。JR串本駅-くしもと町立病院間も100円。フリー乗車区間を12ヵ所設けている。	
成果目標	住民の意見を伺いながら安全で使い勝手のよいコミュニティバス運行に取り組む。H28年度の利用者数の実績(120,933人)から今後、利用者数12万人/年を継続したい。また、町内観光地をつなぐ路線も検討する。	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		47,176	47,176	47,176	141,528
財源見込	国・県支出金				
	一般財源	32,176	32,176	32,176	96,528
	その他	15,000	15,000	15,000	45,000

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
利用者数12万人/年を維持	H29年12月

●総合戦略での事業の位置づけ

1. 安全で安心な時代に合ったまちをつくる	③地域交通網の充実
-----------------------	-----------

					基本目標 I	安全・安心のまち
					4	地域交通網の充実
事業年度	⌵	29	30	31	⌶	交通手段の維持と利便性向上
事業名	JR利用促進啓発事業					
所管	企画課					

●事業の内容

目的	JRの地域における役割は重要なものであり、利用促進へつながる取り組みを進め産業や観光などによる地域の活性化を目的とする。	
事業の概要	紀勢本線に関連する地域が会員となる「紀勢本線活性化促進協議会」に協力し、紀勢本線の活性化に向けた取り組みを行う。 1.住民の鉄道利用について、広報紙等を活用してその啓発に努める。 2.主催するイベントなどへの来場案内の際は、JRなどの公共交通機関を積極的に利用するよう呼びかける。 3.職員の出張等に伴う利用交通手段として可能な限りJRを活用する。  ※紀勢本線活性化促進協議会負担金(5千円) ※紀の国トレイナート事業にかかる補助金の拠出(20万円)	
成果目標	JRの利用促進の啓発に努め、運行本数や快適性向上などの要望を行う。	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		205	205	205	615
財源見込	国・県支出金				
	一般財源	205	205	205	615
	その他				

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
――	

●総合戦略での事業の位置づけ

――	――
----	----

基本目標 I	安全・安心のまち
4	地域交通網の充実
道路網の整備促進	

事業年度	⌵	29	30	31	⌶
------	---	----	----	----	---

事業名	サンゴ台中央線新設事業
所管	建設課

●事業の内容

目的	高速道路へのアクセス道路として、また災害時における防災道路としての役割を果たす道路事業
事業の概要	H26年4月に事業化された紀勢道すさみ串本道路で予定されている串本インターチェンジへのアクセス道路である。 L=1600m、W=6.5m 第3種4級(20Km/h) H28年度に用地買収実施
成果目標	道路を新設することにより、インターチェンジの利便性を向上し、観光をはじめとする地場産業・経済の成長基盤の強化を目指す。 H31年度に工事を完成させる。
達成状況	達成度

●事業費概算(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	計	
事業費	196,621	320,583	270,944	788,148	
財源見込	国・県支出金	75,065	159,750	135,472	370,287
	一般財源	26,856	133	72	27,061
	その他	94,700	160,700	135,400	390,800

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
町道サンゴ台中央線新設事業 完成(H31)	H29年12月

●総合戦略での事業の位置づけ

1. 安全で安心な時代に合ったまちをつくる	①自然災害対策の充実
-----------------------	------------

基本目標 I	安全・安心のまち
4	地域交通網の充実
道路網の整備促進	

事業年度	»	29	30	31	»
------	---	----	----	----	---

事業名	高速道路推進事業
所管	建設課

●事業の内容

目的	近畿自動車道紀南高速事務所を設立し、早期完成を目指す。	
事業の概要	高速道路事業に係る用地交渉及び買収	
成果目標	高速道路については、通常、完成は事業化から10年と言われているが、町としても県と併せて近畿自動車道紀南高速事務所を設立し、H30年度までに用地買収を完了する。	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		32,485	32,485	-	64,970
財源見込	国・県支出金				
	一般財源	32,485	32,485		64,970
	その他				

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
——	

●総合戦略での事業の位置づけ

1. 安全で安心な時代に合ったまちをつくる	③地域交通網の充実
-----------------------	-----------

基本目標 I	安全・安心のまち
4	地域交通網の充実
道路網の整備促進	

事業年度	⌵	29	30	31	⌶
------	---	----	----	----	---

事業名	長寿命化修繕事業(橋梁道路構造物)
所管	建設課

●事業の内容

目的	<p>損傷が大きくなってから対策を行う事後保全的な維持管理ではなく、定期的な点検により橋梁の状態を把握し、損傷が大きくなる前に予防的な補修を行う予防保全的な維持管理に転換を図り橋梁の長寿命化と橋梁の修繕に係る費用の縮減を図る。</p>	
事業の概要	<p>道路構造物の計画的な補修、更新を実施し、今後急速に老朽化していく道路構造物の的確な維持管理を推進することにより、安全で災害にも強い道路ネットワークを確保する。</p>	
成果目標	<p>橋梁長寿命化修繕計画に基づき、計画的に点検、修繕設計、修繕工事を実施する。 H31年度までに113橋の点検を実施。</p>	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費	75,820	21,900	100,500	198,220
財源見込	国・県支出金	42,517	13,369	61,354
	一般財源	11,203	431	4,046
	その他	22,100	8,100	35,100

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
——	

●総合戦略での事業の位置づけ

1. 安全で安心な時代に合ったまちをつくる	①自然災害対策の充実
-----------------------	------------

基本目標 I	安全・安心のまち
4	地域交通網の充実
道路網の整備促進	

事業年度	⌋	29	30	31	⌋
------	---	----	----	----	---

事業名	地籍調査事業
所管	建設課

●事業の内容

目的	現在、土地に関する記録として利用されている公図は、明治時代に作成された字切図を基にしており、土地の形状や面積などが現地の実態と異なっている。 地籍調査は、これらの不備欠陥を補正し、国土の実態を総合的に調査することを目的とする。
事業の概要	現在着手済みの田子・和深地区、及び田原地区(高速道路想定ルート)の調査を実施する。 調査予定面積 H29年度 田子・和深の一部 (1.00km <sup>2</sup> ) H30年度 田原・有田・和深の一部 (4.18km <sup>2</sup> ) H31年度 上田原・津荷・西向・姫の一部 (2.52km <sup>2</sup> )
成果目標	これまで事業化された串本～和深地区間の高速道路建設に係る用地取得業務の効率を図るため、想定ルートの調査を推進してきたが、今後は近い将来事業化が予想される古座方面の高速道路想定ルートの調査を推進する必要がある。ただし、予算確保と担当職員数の状況により、各年度の事業量について変更も視野にいれることを検討する。 計画期間中は、宅地及び山林・農耕地の調査を予定しているが、土地所有者の高齢化が進むに伴い筆界の位置を把握している人が減少傾向にあることや、相続登記がされていないケースや、土地所有者及び相続権者が外国籍を取得している人もいることから、相続人調査に時間を要する事が想定される。 このことから効率的な調査方法を探求する必要がある。 H31年度までに3地区(3.70km <sup>2</sup> )の調査を完了させる。
達成状況	達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		97,772	115,450	113,920	327,142
財源見込	国・県支出金	48,865	86,587	85,440	220,892
	一般財源	48,907	28,863	28,480	106,250
	その他				

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
――	

●総合戦略での事業の位置づけ

――	――
----	----

基本目標 I	安全・安心のまち
5	水道施設の設備
水道施設の維持更新	

事業年度	⌵	29	30	31	⌵
------	---	----	----	----	---

事業名	水道老朽管更新事業
所管	水道課

●事業の内容

目的	水道施設や設備、老朽管の更新や耐震適合理化などを計画的に進め、安全、安心な水道水の供給を目的とする。	
事業の概要	水道老朽管について、耐震性のある水道管に更新する。 H29年度 L=543m 改修予定 H30年度 L=500m 改修予定 H31年度 L=500m 改修予定	
成果目標	老朽管の更新については、年間一定の工事量を確保し、計画的に耐用年数を経過した管路の更新に取り組む。この事業実施にあわせて、有収率の向上に努め、H31年度末までに、85%台に達するよう取り組んでいく。	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費	27,800	27,800	27,800	83,400
財源見込	国・県支出金	6,666	6,666	13,332
	一般財源	21,134	21,134	70,068
	その他			

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
有収率 70.11%(H26) → 85.00%(H31)	

●総合戦略での事業の位置づけ

1. 安全で安心な時代にあったまちをつくる	①自然災害対策の充実
-----------------------	------------

基本目標 I	安全・安心のまち
5	水道施設の設備
経営の健全化	

事業年度	⌋	29	30	31	⌋
------	---	----	----	----	---

事業名	水道料金の適正化
所管	水道課

●事業の内容

目的	水道料金の適正化を行い、経営の安定化を図る。	
事業の概要	施設や設備の合理化、効率化の推進にあわせ、様々な事業及び資産維持費を試算する中で水道料金、手数料、分担金等の見直しを図り、経営の安定化を目指す。	
成果目標	単年度収支の赤字継続、内部留保資金の減少、水道施設改修に伴う費用等が見込まれる状況から、老朽管更新及び資産維持費を見込んだ総括原価を適正に試算する中で水道料金を見直す。	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費	-	-	-	-
財源見込	国・県支出金			
	一般財源			
	その他			

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
――	

●総合戦略での事業の位置づけ

――	――
----	----

基本目標 I	安全・安心のまち
5	水道施設の設備
経営の健全化	

事業年度	⌵	29	30	31	⌶
------	---	----	----	----	---

事業名	有収率向上による経費の削減
所管	水道課

●事業の内容

目的	有収率の向上の取り組みを通して、変動費用(動力費、薬品費等)の削減を行う。	
事業の概要	漏水メータを活用し、漏水箇所の絞り込みを行うとともに、管路以外(配水池等)の漏水調査を強化する。あわせて、配水流量管理の強化による漏水の早期発見に努める。	
成果目標	H27年度末には71%であった有収率を、H29年度末までに80%台を目指す。 【経費の削減】 動力費及び薬品費の経費を約5%削減を目指す。	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		68,517	67,146	65,803	201,466
財源見込	国・県支出金				
	一般財源				
	その他	68,517	67,146	65,803	201,466

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
有収率 70.11%(H26) → 85.00%(H31)	

●総合戦略での事業の位置づけ

1. 安全で安心な時代に合ったまちをつくる	①自然災害対策の充実
-----------------------	------------

基本目標 I	安全・安心のまち
6	ICT基盤の整備促進
情報通信基盤の整備促進	

事業年度	⌵	29	30	31	⌶
------	---	----	----	----	---

事業名	観光地・公共施設等へのWi-Fi整備
所管	産業課

●事業の内容

目的	観光地・公共施設等へのWi-Fi設置	
事業の概要	観光客の満足度向上につながる情報通信基盤の整備を進める。具体的には、町内の観光地・公共施設にインターネットサービスを利用した情報収集が行えるよう公共Wi-Fiを整備していく	
成果目標	3箇所(3年間累計)	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		-	123	246	369
財源見込	国・県支出金		61	123	184
	一般財源		62	123	185
	その他				

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
観光地、公共施設等へのWi-Fi整備 7ヵ所(5年間累計)	H29年12月

●総合戦略での事業の位置づけ

1. 安全で安心な時代にあったまちをつくる	④ICT基盤の整備推進
-----------------------	-------------

基本目標 I	安全・安心のまち
6	ICT基盤の整備促進
情報通信基盤の整備促進	

事業年度	》	29	30	31	》
------	---	----	----	----	---

事業名	携帯電話等不感地区減少活動
所管	企画課

●事業の内容

目的	携帯電話やスマートフォンなどは、日常生活と密接に関わり、人々の生活を支えるツール・基盤となっていることから、不感となっている地区を減少させることを目的とする。	
事業の概要	電柱建立費や通信経路整備費など、不感地区における世帯人口に対する費用対効果を考えて、町で整備を行うことによる解消が困難であることから、事業者に対して自主進出でのアンテナ等設置要望を提出し解消できるよう活動を行う。	
成果目標	不感地区をH31年度までに2カ所とする。	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		-	-	-	-
財源見込	国・県支出金				
	一般財源				
	その他				

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
6カ所(H26) → 2カ所(H31)	H29年12月

●総合戦略での事業の位置づけ

1. 安全で安心な時代にあったまちをつくる	④ICT基盤の整備推進
-----------------------	-------------

					基本目標 I	安全・安心のまち
					6	ICT基盤の整備促進
事業年度	⋯	29	30	31	⋯	ICT教育の推進
事業名	教育施設の老朽化PC・ソフトウェアの更新事業					
所管	教育課					

●事業の内容

目的	<p>H21年度 経済危機対策臨時交付金 情報通信基盤更新事業 学校情報通信技術環境整備事業費補助金を受け、すべての小・中学校に校務用として、パソコン151台、教育用として、261台を導入。          ※契約書による納入期日：H22年5月31日          以降、7年が経過しており、老朽化による不具合や故障が増えているため、機器およびソフトウェア等の更新を行う。</p>	
事業の概要	<p>校務用パソコンの更新により、学校ネットワークセキュリティ強靱化システムに対応した環境整備を図るとともに、学校事務の効率化を目指す。          児童生徒が、コンピューターや情報通信ネットワークなどの情報手段に慣れ親しみ、文字を入力するなどの基本的操作および情報モラルを身につける。          またコンピューターや情報通信ネットワークなどの情報手段を適正かつ主体的、積極的に活用することができ、情報処理・発信技術を身につける。</p>	
成果目標	<p>H29年度において、校務用パソコン143台を更新する。          来年度以降、教育用パソコン220台併せて教育用ソフトウェアを更新していく。</p>	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		2,275	14,256	21,653	38,184
財源見込	国・県支出金				
	一般財源	2,275	14,256	21,653	38,184
	その他				

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
小中学校ICT更新 100%/5年以内(H31迄に)	

●総合戦略での事業の位置づけ

1. 安全で安心な時代にあつたまちをつくる	④ICT基盤の整備推進
-----------------------	-------------

基本目標 I	安全・安心のまち
6	ICT基盤の整備促進
ICT教育の推進	

事業年度	⌵	29	30	31	⌶
------	---	----	----	----	---

事業名	ICT講習会等知識・能力習得支援事業
所管	教育課

●事業の内容

目的	視聴覚教育及び情報通信ネットワーク社会形成については、昨今の高度情報通信技術の急激な発展・進歩に対応し、インターネットその他の情報通信ネットワークを通じて新しい教育メディアを活用した学習方法を取り入れる必要がある。更なる学習等の教育効果を高めると共に生活に有効活用による豊かな暮らしをサポートする。	
事業の概要	パソコン教室・タブレット教室等開催	
成果目標	2回／年 以上開催	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		27	27	27	81
財源見込	国・県支出金				
	一般財源	27	27	27	81
	その他				

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
講習会支援等 10回 (5年間累計)	

●総合戦略での事業の位置づけ

1. 安全で安心な時代に合ったまちをつくる	④ICT基盤の整備推進
-----------------------	-------------

基本目標 I	安全・安心のまち
6	ICT基盤の整備促進
情報発信体制の整備	

事業年度	⌵	29	30	31	⌶
------	---	----	----	----	---

事業名	行政サービスの情報化推進事業
所管	企画課

●事業の内容

目的	人々の生活を支えるツール・基盤となっているパソコンやスマートフォンを活用した各種行政サービスの電子申請化や、ホームページなどによる情報発信の推進を目的とする。
事業の概要	マイナポータルを利用した子育てワンストップサービスを活用することで各種行政サービスの電子申請化を図るとともに、観光面においても、町ホームページなどでより多くの情報が発信できるよう取り組む。
成果目標	各種行政サービスの電子申請化の構築
達成状況	達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		1,221	519	519	2,259
財源見込	国・県支出金				
	一般財源	1,221	519	519	2,259
	その他				

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
—	

●総合戦略での事業の位置づけ

1.安全で安心な時代にあったまちをつくる	④ICT基盤の整備推進
----------------------	-------------



## 基本目標Ⅱ

# 健やかで笑顔あふれるまち

基本目標Ⅱ	1	地域医療・保健・福祉の充実
	2	高齢化社会への対応
	3	出会い・結婚支援
	4	出産・子育て支援

### まち・ひと・しごと創生総合戦略上の主要対象項目

1. 安全で安心な時代に合ったまちをつくる	②地域医療・福祉の充実
	⑥高齢化社会への対応
2. 若い世代に優しいまちをつくる	①出会い・結婚支援
	②出産・子育て・教育支援



					基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
					1	地域医療・保健・福祉の充実
事業年度	》	29	30	31	》	保健・医療の充実
事業名	医療機器等整備事業					
所管	くしもと町立病院					

### ●事業の内容

目的	くしもと町立病院は、地域の中核病院、新宮二次保健医療圏における二次医療を行う病院、救急告示病院の指定を受けて二次救急医療を行う病院としての役割を担っている。また、治療のみならず、健康増進、疾病予防、リハビリ、健康診断まで包括的な医療を提供している。計画的に医療機器を更新することで、充実した医療サービスを提供していくことを目的とする。基本計画の主要施策である「町立病院を安定的に存続させるための対策実施」に係る事業。	
事業の概要	毎年度、計画的に老朽化した医療機器の更新又は新規導入を行う。H29年度は医療機器の更新に加えて、電子カルテシステムの更新を行う。	
成果目標	医療機器の購入費用が多額となることで、財源となる企業債の発行額、元利償還金が増大し、財政を圧迫する要因となるため、費用を抑制する必要がある。新改革プランの収支計画における医療機器の更新費用は、医療機器の取得価格約10億円、更新期間を耐用年数を超える10年として、毎年度1億円で計上している。更新費用については1億円を下回る額とし、使用期間は10年以上で更新することを目標とする。	
達成状況		達成度

### ●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		382,164	100,000	100,000	582,164
財源見込	国・県支出金	40,000	2,700	2,700	45,400
	一般財源	164	100	100	364
	その他	342,000	97,200	97,200	536,400

### ●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
—	

### ●総合戦略での事業の位置づけ

1. 安全で安心な時代に合ったまちをつくる	②地域医療・保健・福祉の充実
-----------------------	----------------

基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
1	地域医療・保健・福祉の充実
保健・医療の充実	

事業年度	⌋	29	30	31	⌋
------	---	----	----	----	---

事業名	修学資金貸付事業
所管	くしもと町立病院

●事業の内容

目的	くしもと町立病院は、地域の中核病院、新宮二次保健医療圏における二次医療を行う病院、救急告示病院の指定を受けて二次救急医療を行う病院としての役割を担っている。また、治療のみならず、健康増進、疾病予防、リハビリ、健康診断まで包括的な医療を提供している。 当病院に勤務することを希望し、医療技術職の資格を取得するために養成学校に通うものに対して修学資金を貸し付けることで、当病院の医療技術職員を確保し、安定した地域医療サービスを提供することを目的とする。基本計画の主要施策である「地域医療を支える医療スタッフの確保」に係る事業。
事業の概要	医療技術職の資格を取得するために養成学校に入学を希望する学生のうち、資格取得後、当病院へ就業を希望するものに対し、無利子で月額5万円を貸し付ける。貸付期間は、貸付決定の際に定める月から在学している養成学校を卒業するまでの月とする。養成学校を卒業後、1年以内に医療技術職の免許を取得し、当病院において貸与期間以上従事した時は貸付金の返還を免除する。
成果目標	貸付制度の活用促進を図り、毎年度1名以上に対し貸付金を貸与する。
達成状況	達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		3,000	3,000	3,000	9,000
財源見込	国・県支出金				
	一般財源				
	その他	3,000	3,000	3,000	9,000

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
—	

●総合戦略での事業の位置づけ

1. 安全で安心な時代に合ったまちをつくる	②地域医療・保健・福祉の充実
-----------------------	----------------

					基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
					1	地域医療・保健・福祉の充実
					2	高齢化社会への対応
事業年度	⌵	29	30	31	⌶	保健・医療の充実/高齢者の生活支援
事業名	訪問看護事業(地域包括ケアシステムの構築)					
所管	くしもと町立病院・福祉課					

### ●事業の内容

目的	くしもと町立病院は、地域の中核病院、新宮二次保健医療圏における二次医療を行う病院、救急告示病院の指定を受けて二次救急医療を行う病院としての役割を担っている。また、治療のみならず、健康増進、疾病予防、リハビリ、健康診断まで包括的な医療を提供している。訪問看護室を設置し、訪問看護・訪問リハビリを実施することで、在宅医療体制の整備構築を推進することを目的とする。地域包括支援センター等とも連携し、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を目指していく。基本計画の主要施策である「在宅医療体制の整備構築」に係る事業。	
事業の概要	訪問看護室を設置して2名の看護師を配置、また理学療法士1名を加え、継続的に訪問看護・訪問リハビリを実施していく。	
成果目標	毎年度1,000件以上の訪問看護・訪問リハビリを実施する。	
達成状況		達成度

### ●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		35,386	35,386	35,386	106,158
財源見込	国・県支出金	9,702	9,702	9,702	29,106
	一般財源	18,801	18,801	18,801	56,403
	その他	6,883	6,883	6,883	20,649

### ●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
——	

### ●総合戦略での事業の位置づけ

1.安全で安心な時代に合ったまちをつくる	②地域医療・保健・福祉の充実
	⑥高齢化社会への対応

					基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
					1	地域医療・保健・福祉の充実
事業年度	》	29	30	31	》	保健・医療の充実
事業名	特定健診事業					
所管	福祉課					

●事業の内容

目的	H28年1月1日現在、65歳以上の人口は7,285人、高齢化率は42.1%を越え、年々高齢化は進行している。また、疾病構造では生活習慣病が増加し、町民の健やかな暮らしを脅かしている。3大死因(がん、虚血性心疾患、脳血管疾患)は生活習慣が主な原因であり、メタボリックシンドロームの予防のために特定健診を受診することが重要である。特定健診を受診することで、生活習慣病の早期発見・早期治療の向上を図るものである。	
事業の概要	国保担当課(住民課)との連携による特定健診、特定保健指導の実施	
成果目標	国保担当課(住民課)と連携し、特定健診受診者数の目標を1,700人(H31年度)とし、生活習慣病を予防する。	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		22,732	22,732	22,732	68,196
財源見込	国・県支出金	11,640	11,640	11,640	34,920
	一般財源	11,092	11,092	11,092	33,276
	その他				

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
受診者数 1,161人(H26) → 1,700人(H31)	H29年12月

●総合戦略での事業の位置づけ

1. 安全で安心な時代に合ったまちをつくる	②地域医療・保健・福祉の充実
-----------------------	----------------

					基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
					1	地域医療・保健・福祉の充実
事業年度	⌋	29	30	31	⌋	保健・医療の充実
事業名	健康増進事業					
所管	福祉課					

●事業の内容

目的	生活習慣病の予防のための日常生活上の心得、健康増進の方法、食生活のあり方やその他健康に関すること、心身の健康に関する相談に応じ、必要な指導及び助言を行うことで、家庭における健康管理に資すること。	
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康増進法による事業の実施 健康相談、健康教育、訪問指導、健康診査</li> <li>骨粗しょう症検診が実施不可能なため、健康相談で40歳以上の女性に骨密度測定を実施</li> </ul>	
成果目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康相談、健康教育事業を通して健康増進に関する正しい知識の普及・啓発を図り、町民自らが健康増進に努められるように支援する。</li> <li>健康管理システム活用による、相談、教育等の事務効率化を図る。</li> </ul>	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		1,720	1,720	1,720	5,160
財源見込	国・県支出金	1,146	1,146	1,146	3,438
	一般財源	574	574	574	1,722
	その他				

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
_____	

●総合戦略での事業の位置づけ

1. 安全で安心な時代に合ったまちをつくる	②地域医療・保健・福祉の充実
-----------------------	----------------

基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
1	地域医療・保健・福祉の充実
保健・医療の充実	

事業年度	⌵	29	30	31	⌶
------	---	----	----	----	---

事業名	がん検診事業
所管	福祉課

### ●事業の内容

目的	国民の2人に1人ががんになり、3人に1人ががんで亡くなっている現状に対し、がん検診を受診することで、がんによる死亡を減らすものとする。	
事業の概要	・健康増進法による事業の実施 集団及び個別(委託医療機関)による各種がん検診 (胃がん・大腸がん・肺がん・子宮頸がん・乳がん)	
成果目標	・健康管理システム活用による各検診の事務効率化を図るとともに、がん検診全体受診者率の目標を18.1%(H31年度)とする。	
達成状況		達成度

### ●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		28,827	28,827	28,827	86,481
財源見込	国・県支出金				
	一般財源	28,827	28,827	28,827	86,481
	その他				

### ●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
がん検診全体受診者率 13.1%(H26) → 18.1%(H31)	

### ●総合戦略での事業の位置づけ

1. 安全で安心な時代に合ったまちをつくる	②地域医療・保健・福祉の充実
-----------------------	----------------

基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
1 4	地域医療・保健・福祉の充実 出産・子育て支援
保健・医療の充実/各種相談・教室・健診等体制の充実	

事業年度	⌵	29	30	31	⌶
------	---	----	----	----	---

事業名	予防接種事業
所管	福祉課

### ●事業の内容

目的	各種感染症に対し、免疫をもたない個人を対象に感染予防又は重症化の防止として、集団に対しては流行・蔓延を防ぎ、住民の健康を守ることを目的とする。	
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予防接種法に基づく定期接種の対象である乳幼児、児童・生徒、高齢者に対し実施。</li> <li>・高齢者を対象としたインフルエンザ、肺炎球菌予防接種は毎年度実施。</li> <li>・乳幼児については定期接種となる予防接種が増加し、大部分を個別接種で実施。</li> <li>・全国的にかかりつけ医のもとで実施する個別接種が主流となっており、今後保護者が安心、安全にかかりつけ医で接種を受けられるよう、町内医療機関の医師と相談、協議し、随時個別接種に切り替えていく。</li> <li>・風しん予防接種の費用助成を実施。</li> </ul>	
成果目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・接種対象者が各予防接種の対象年齢中に確実に接種を受けられるようにする。</li> <li>・接種対象者が接種期間内に受けられるよう十分な接種機会を設け、保護者に対し予防接種に関する知識の普及、乳幼児健診での声掛けや個別通知、電話などで接種勧奨を行う。</li> <li>・病院での1か月健診時に、母子に対し予防接種に関する情報を提供し、スムーズに予防接種を受けていけるよう支援する。</li> <li>・高齢者インフルエンザ予防接種率が60%を下回らないようにする。</li> <li>・風しん予防接種について、特に抗体化の低い対象者に対する費用助成事業をPRLし、接種勧奨を実施する。</li> </ul>	
達成状況		達成度

### ●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		50,341	50,341	50,341	151,023
財源見込	国・県支出金	100	100	100	300
	一般財源	50,241	50,241	50,241	150,723
	その他				

### ●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
高齢者インフルエンザ接種率 56.6%(H26) → 61.9%(H31)	
BCG接種率 98%(H26) → 100%(H31)	

### ●総合戦略での事業の位置づけ

1. 安全で安心な時代に合ったまちをつくる	②地域医療・保健・福祉の充実
2. 若い世代に優しいまちをつくる	②出産・子育て・教育支援

					基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれる町
					1	地域医療・保健・福祉の充実
事業年度	⌋	29	30	31	⌋	保健・医療の充実
事業名	国民健康保険運営事業					
所管	住民課・税務課					

●事業の内容

目的	H30年度からの県への保険者移行など国保の大制度改革を踏まえ、従前どおりの対策では国保事業の安定運営に不十分となる見込みであるため、制度改革の内容に応じた財政対策を講じる。	
事業の概要	H30年度以降は、医療費・年齢構成・所得・被保険者数・保険者努力による国新補助金等に応じた分納金制度に変更される。この分納金額をできるだけ少なくするための対策を講じる。 ①特定健診の受診率向上 ②国新財源(保険者努力支援)の確保 ③税収納率の維持	
成果目標	①毎年度、前年度以上 ②-1(新制度は点数制であるため)毎年度、獲得点数が前年度以上 -2(毎年内容が見直されるため)毎年度、新規条件を達成 ③現状維持	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		3,209,065	3,209,065	3,209,065	9,627,195
財源見込	国・県支出金	706,545	706,545	706,545	2,119,635
	一般財源	764,936	764,936	764,936	2,294,808
	その他	1,737,584	1,737,584	1,737,584	5,212,752

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
――	

●総合戦略での事業の位置づけ

――	――
----	----

基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
1	地域医療・保健・福祉の充実
障害者福祉の充実	

事業年度	⌋	29	30	31	⌋
------	---	----	----	----	---

事業名	地域生活支援事業
所管	福祉課

### ●事業の内容

目的	障害者及び障害児が基本的人権を享有する個人としての尊厳にふさわしい日常生活又は社会生活を営むことができるよう、地域の特性や利用者の状況に応じた柔軟な事業形態による事業を計画的に実施し、もって障害者及び障害児の福祉の増進を図るとともに、障害の有無に関わらず国民が相互に人格と個性を尊重し、安心して暮らすことのできる地域社会の実現に寄与することを目的とする。	
事業の概要	<b>【対象者】</b> ・障害者総合支援法、児童福祉法に規定する者 <b>【地域生活支援事業】</b> ・相談支援事業 ・成年後見人制度利用支援事業 ・意思疎通支援事業 ・日常生活用具給付事業 ・移動支援事業 ・手話奉仕員養成研修事業 ・日中一時支援事業 ・地域活動支援センター事業 ・身体障害者自動車改造費助成事業 ・巡回支援専門員整備事業	
成果目標	障害者及び障害児の福祉の増進を図るとともに、障害の有無に関わらず住民が相互に人格と個性を尊重し、安心して暮らすことのできる地域社会の実現に寄与する。	
達成状況		達成度

### ●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		31,917	31,917	31,917	95,751
財源見込	国・県支出金	15,284	15,284	15,284	45,852
	一般財源	16,633	16,633	16,633	49,899
	その他				

### ●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
—	

### ●総合戦略での事業の位置づけ

1. 安全で安心な時代に合ったまちをつくる	②地域医療・保健・福祉の充実
-----------------------	----------------

					基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
					1	地域医療・保健・福祉の充実
事業年度	②	②9	③0	③1	③	障害者福祉の充実
事業名	福祉タクシー事業					
所管	福祉課					

●事業の内容

目的	重度心身障害者(児)に対し、福祉タクシーの利用料金の一部を助成することにより、重度心身障害者(児)の生活行動範囲の拡大及び社会参加の促進に寄与し、もって福祉の向上を図ることを目的とする。	
事業の概要	福祉タクシー利用券を交付する。 【対象者】 身体障害者手帳1級か2級、又は第1種の在宅介助を要する者。療育手帳A判定の者。精神障害者保健福祉手帳1級の者。 【助成範囲】 1枚につき福祉タクシー基本料金相当額。(年間1人12枚) 【利用方法】 1回の乗車につき利用券1枚を渡し、手帳を提示する。本人と他の者との同乗の場合も利用可。	
成果目標	高齢者の障害者手帳申請が増加しているため、今後とも対象者が増加していくことが考えられる。これまでどおり重度心身障害者(児)の生活行動範囲の拡大及び社会参加の促進のため、本事業を継続していくことが必要である。	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		817	817	817	2,451
財源見込	国・県支出金				
	一般財源	17	17	17	51
	その他	800	800	800	2,400

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
_____	

●総合戦略での事業の位置づけ

1. 安全で安心な時代に合ったまちをつくる	③地域交通網の充実
-----------------------	-----------

					基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
					1	地域医療・保健・福祉の充実
事業年度	⌋	29	30	31	⌋	障害者福祉の充実
事業名	障害者自立支援給付事業					
所管	福祉課					

●事業の内容

目的	障害者及び障害児がその有する能力及び適正に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障害福祉サービスに係る給付その他の支援を行い、もって障害者及び障害児の福祉の増進を図るとともに、障害の有無にかかわらず町民が相互に人格と個性を尊重し、安心して暮らすことのできる地域社会の実現に寄与することを目的とする。	
事業の概要	<b>【対象者】</b> ・障害者総合支援法、児童福祉法に規定する者 <b>【自立支援給付サービス】</b> ・介護給付 ・訓練等給付 ・自立支援医療 ・補装具費 ・障害児給付	
成果目標	・障害者等の地域生活への移行を進める観点から、福祉施設入所者又は新たな入所希望者について、相談支援事業所等と連携を図り、自立訓練事業等の障害福祉サービスを活用し、地域生活に向けての検討を行い、グループホーム又は一般住宅等への移行を推進することで施設入所者数の減少を図り、より多くの障害者の自立支援を目指す。 ・発達がゆっくりな子ども達が、通園等の障害福祉サービスを通じ、集団生活の中での人とのかわりあいなど基本的な生活習慣の確立、社会的に自立することを旨とする。	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		535,393	535,393	535,393	1,606,179
財源見込	国・県支出金	400,665	400,665	400,665	1,201,995
	一般財源	134,728	134,728	134,728	404,184
	その他				

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
――	

●総合戦略での事業の位置づけ

――	――
----	----

基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
1	地域医療・保健・福祉の充実
障害者福祉の充実	

事業年度	》	29	30	31	》
------	---	----	----	----	---

事業名	身体心身障害者(児)福祉年金等支給事業
所管	福祉課

### ●事業の内容

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>○身体障害者等福祉年金支給事業 社会保障の理念に基づき身体障害者等に身体障害福祉年金を支給し、その生活の安定に寄与する等福祉の増進を図ることを目的とする。</li> <li>○心身障害児福祉年金支給事業 社会保障の理念に基づき、心身障害児を監護している者に心身障害児福祉年金を支給し、その生活の安定及び福祉の増進に寄与することを目的とする。</li> <li>○心身障害児福祉手当 障害児の生活の安定及び福祉の向上を図ることを目的とする。</li> <li>○心身障害児奨学金支給 障害児の就学の奨励を図ることを目的とする。</li> </ul>
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○身体障害者等福祉年金支給事業 【対象者】身体障害者手帳又は精神障害保健福祉手帳の交付を受けている20歳以上の者のうち障害程度等級が1級の者、又は障害者及び療育手帳の交付を受けている20歳以上の者。ただし、年間所得が10万円以上ある者を除く。 【支給額】年額30,000円</li> <li>○心身障害児福祉年金支給事業 【対象者】身体障害者手帳、精神障害保健福祉手帳又は療育手帳の交付を受けている児童、若しくは特別児童扶養手当の対象となる児童を監護する者。 【支給額】年額30,000円</li> <li>○心身障害児福祉手当 【対象者】身体障害者手帳、精神障害保健福祉手帳又は療育手帳の交付を受けている20歳以下の者。ただし、児童手当受給年齢の心身障害児及び申本町重度心身障害児(者)医療費の受給に関する条例による医療費の支給を受けることができる者は除く。 【支給額】年額48,400円(在宅)、年額14,600円(在宅以外)</li> <li>○心身障害児奨学金 【対象者】保護者が本町に住所を有し、20歳に達した日以後の最初の3月31日までの間にある知的障害児、身体障害児又は精神障害児で、町長が認める町外の学校等に通学する者。ただし、6歳未満の児童は除く。 【支給額】年額15,600円</li> </ul>
成果目標	障害者及び障害児の生活安定を図る上で必要な事業であるため、今後も継続して実施していく必要がある。
達成状況	達成度

### ●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		12,095	12,095	12,095	36,285
財源見込	国・県支出金				
	一般財源	95	95	95	285
	その他	12,000	12,000	12,000	36,000

### ●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
――	

### ●総合戦略での事業の位置づけ

2. 若い世代に優しいまちをつくる	②出産・子育て・教育支援
-------------------	--------------

基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
1	地域医療・保健・福祉の充実
地域福祉の充実	

事業年度	》	29	30	31	》
------	---	----	----	----	---

事業名	串本町社会福祉協議会助成事業
所管	福祉課

●事業の内容

目的	串本町社会福祉協議会は、社会福祉法に基づく福祉事業を運営し、地域の社会福祉の向上・増進を図り、安心して暮らすことができる地域社会の実現を目指し継続的な地域福祉活動を行っているため、同協議会活動に対し助成を行うものである。	
事業の概要	串本町社協の運営及び地域福祉事業に対する補助金を交付する。 <串本町社会福祉協議会> (H28年3月31日現在) 理事 12名、 監事 2名、 評議員 26名、 福祉委員 378名 会員 4,545名 ボランティア登録者 405名 (職員体制) 串本事業所 82名 古座事業所 33名、 総務地域福祉係 6名	
成果目標	利用者のニーズにあった福祉サービスの提供など、同協議会が果たす役割は非常に大きく、毎年応分の助成が必要である。	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		24,000	24,000	24,000	72,000
財源見込	国・県支出金				
	一般財源	24,000	24,000	24,000	72,000
	その他				

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
_____	

●総合戦略での事業の位置づけ

_____	_____
-------	-------

						基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
						1	地域医療・保健・福祉の充実
事業年度	⌵	29	30	31	⌵	地域福祉の充実	
事業名	民生委員児童委員協議会助成事業						
所管	福祉課						

●事業の内容

目的	串本町民生委員児童委員協議会の活動は、社会奉仕の精神をもって常に町民の立場に立って相談に応じたり必要な援助を行うなど、社会福祉の増進に寄与するため、同協議会に対し助成を行うものとする。	
事業の概要	民生委員児童委員の調査、相談及び支援活動を尊重し、地域福祉の推進につながる同協議会の円滑な活動及び各委員の活動を継続させていく。 <串本町民生委員児童委員協議会> ・委員構成 75名（民生委員71名、主任児童委員4名） ・委員任期 3年（H28年12月1日～H31年11月30日まで）	
成果目標	地域住民の利益や権利を守り、地域福祉の増進を図るため、常に住民の立場に立った活動が一層求められている。また、組織的、計画的な活動の実践とともに、個人情報やプライバシー保護に十分配慮しながら相談・支援活動を行っている。 よって、串本町民生委員児童委員協議会が地域福祉の増進に果たす役割は大きいことから、毎年応分の助成を行うことが必要である。	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		5,711	6,111	6,111	17,933
財源見込	国・県支出金	4,477	4,477	4,477	13,431
	一般財源	1,234	1,634	1,634	4,502
	その他				

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
――	

●総合戦略での事業の位置づけ

――	――
----	----

					基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
					1	地域医療・保健・福祉の充実
事業年度	》	29	30	31	》	地域福祉の充実
事業名	地域福祉計画策定事業					
所管	福祉課					

●事業の内容

目的	社会福祉法第107条の規定により、「串本町地域福祉計画」を策定する。 本計画の位置付けは、地方公共団体の自治事務であり、義務規定ではないものの、県内各市町村に遅れをとることのないよう同計画を策定するものとする。	
事業の概要	地域における生活課題や福祉ニーズを的確に把握し、住民の主体的参加による意見反映が計画づくりを進めるために最も必要なことから、公募町民、ボランティア、NPO、保健、福祉、医療関係者、町民団体などで構成する計画策定懇談会を開催し、本計画を策定する。 ・策定委員の委嘱 ・策定委員会の開催 ・町民アンケート調査の実施 ・庁内関係課等ヒアリング調査 ・関係団体等インタビュー調査 ・ワークショップの開催 ・計画書の印刷製本	
成果目標	・H29 策定委員会の開催、町民アンケート調査の実施、庁内関係課等ヒアリング調査 ・H30 関係団体等インタビュー調査、ワークショップの開催、計画書の印刷製本	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		1,566	3,024	-	4,590
財源見込	国・県支出金				
	一般財源	1,566	3,024		4,590
	その他				

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
_____	
_____	
_____	

●総合戦略での事業の位置づけ

_____	_____
-------	-------

					基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
					2	高齢化社会への対応
事業年度	》	29	30	31	》	高齢者の生活支援
事業名	介護予防・地域支え合い事業					
所管	福祉課					

●事業の内容

目的	概ね65歳以上の要支援・要介護高齢者等に対し、介護予防サービス等を提供することにより、これらの者の自立した生活を確保し、高齢者等の総合的な福祉に資することを目的とする。	
事業の概要	<p>○寝具類洗濯乾燥消毒サービス事業 老人一人暮らし、老人のみの世帯又はそれに準ずる世帯に属する高齢者及び身体障害者であって、寝具類等の衛生管理が困難な高齢者について、寝具類等の衛生管理を行う。 月2回を限度とし、サービス料の5割を自己負担。</p> <p>○生活管理指導短期宿泊事業(ショートステイ) 介護保険法に規定する介護認定において非該当となった概ね65歳以上の単身世帯、高齢者のみの世帯及びこれに準ずる世帯にある者であって、生活習慣及び対人関係に対する指導が必要である等の社会的対応が困難な者について、一時的に施設等に宿泊させ、生活習慣及び体調調整等を行う。 年2回、1回7日以内を限度とする。</p> <p>○配食サービス事業 老人一人暮らし、老人のみの世帯又はそれに準ずる世帯に属する高齢者及び身体障害者であって、調理が困難な者について、指定居宅サービス事業所で調理された弁当を自宅に届けて、安否確認を行う。 1日2回を限度とし、1回につき500円を自己負担。</p>	
成果目標	老人一人暮らし、老人のみの世帯又はそれに準ずる世帯に属する高齢者及び身体障害者等について、配食サービスによる食生活の援助及び安否確認、寝具類の洗濯乾燥消毒サービスによる衛生管理等による、在宅での生活を支援するものである。 高齢者が住み慣れた地域で安心した生活が続けられるよう、今後も本事業を継続していく必要がある。	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		60,683	60,683	60,683	182,049
財源見込	国・県支出金	10,227	10,227	10,227	30,681
	一般財源	7,256	7,256	7,256	21,768
	その他	43,200	43,200	43,200	129,600

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
――	

●総合戦略での事業の位置づけ

1. 安全で安心な時代に合ったまちをつくる	⑥高齢化社会への対応
-----------------------	------------

					基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
					2	高齢化社会への対応
事業年度	⌵	29	30	31	⌶	高齢者の生活支援
事業名	隣保館デイサービス事業					
所管	福祉課					

●事業の内容

目的	田子地区～和深地区の65歳以上の元気老人を対象に、福祉の向上や人権のための住民交流の拠点として、老人の自立支援や生きがい等の地域福祉を高めていくため、隣保館デイサービス事業の利用拡大を図る。	
事業の概要	田子地区～和深までの65歳以上の元気な老人等で、介護保険が非該当の方を対象に、毎週火曜日(1回15人)に隣保館デイサービス事業を実施する。 ・日常生活訓練 日常生活動作、歩行、家事訓練等 ・創作、軽作業 アートフラワー、工作、四季の催し物作成 ・レクリエーション ヨガ、カラオケ、保育所児との交流、給食、各種催し物での活発発表	
成果目標	田子地区～和深地区の65歳以上の元気老人の在宅福祉サービスを行う施設として、串本町社会福祉協議会との連携を強化し、地域住民の積極的な参加により、月平均利用者14人～15人を目指す。	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		2,736	2,736	2,736	8,208
財源見込	国・県支出金	893	893	893	2,679
	一般財源	1,843	1,843	1,843	5,529
	その他				

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
――	

●総合戦略での事業の位置づけ

1. 安全で安心な時代に合ったまちをつくる	⑥高齢化社会への対応
-----------------------	------------

基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
2	高齢化社会への対応
高齢者の生活支援	

事業年度	》	29	30	31	》
------	---	----	----	----	---

事業名	介護保険事業計画策定事業
所管	福祉課

●事業の内容

目的	高齢期を迎えた町民がいつまでも住み慣れた地域で健康にいきいきと暮らすことができ、また、社会支援が必要となったときに適切なサービスが受けられる地域社会づくりを目指し、高齢者福祉施策及び介護保険事業の計画的な推進を図るため、「高齢者福祉計画・介護保険事業計画」を策定するものである。
事業の概要	<p>【計画策定】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・策定委員の委嘱</li> <li>・策定委員会の開催</li> <li>・計画書の印刷製本</li> </ul> <p>【計画期間】</p> <p>H30年度～H32年度(3年間)</p> <p>【記載事項】</p> <p>圏域の設定、種類ごとの介護サービス量の見込み、施設の必要定員総数、地域支援事業、認知症支援策、医療との連携、高齢者の居住に係る施策との連携、生活支援サービス など</p>
成果目標	老人福祉法及び介護保険法の規定により、介護保険給付の円滑な実施のため、3年を1期とする「串本町第8次高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画(H30年度～H32年度)」を策定する。
達成状況	達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		3,568	-	-	3,568
財源見込	国・県支出金				
	一般財源	3,568			3,568
	その他				

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
介護保険事業計画 3年毎見直し実施 (次回H30/3)	

●総合戦略での事業の位置づけ

1. 安全で安心な時代に合ったまちをつくる	⑥高齢化社会への対応
-----------------------	------------

基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
2	高齢化社会への対応
高齢者の活躍場所の拡大支援	

事業年度	②	②9	③0	③1	④
------	---	----	----	----	---

事業名	串本町シルバー人材センター助成事業
所管	福祉課

### ●事業の内容

目的	串本町シルバー人材センターの活動については、高齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づき、高齢者等の生きがいづくり、地域社会への貢献等、健康で働く意欲のある方に就業の機会・場を提供し、高齢者がこれまで長年培ってきた能力を生かした活力ある地域社会づくりに寄与するため、同センターに対し助成を行うものとする。
事業の概要	<p>高齢者の雇用の安定に関する法律に基づき、高齢者等の健康で生きがいのある生活の実現と、地域社会の活性化、福祉の向上に資するため、臨時的かつ短期的な就業を希望する方に就業の機会を提供する団体を育成することを目的とし、事務局体制の強化確立が図られるまでの間、助成を行う。</p> <p>【H28年度事業実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就業延べ人員 7,320人(請負分6,500人、派遣分820人)</li> <li>・事業収入 34,323,960円</li> </ul> <p>※参考 H26年度については、「2015紀の国わかやま国体」の影響で、就業延べ人員が一時的に増加し、8,334人となった。</p>
成果目標	串本町シルバー人材センターは、H18年2月設立後、事務局体制も整備され、安定化の兆しが見られるが、今後、更に事業活動内容を精査し、組織の強化、経営の安定化が求められることから、それまでの間、応分の助成を行っていくことが必要である。
達成状況	達成度

### ●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		1,800	1,800	1,800	5,400
財源見込	国・県支出金				
	一般財源	1,800	1,800	1,800	5,400
	その他				

### ●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
シルバー人材センター就業延べ人員 7,600人以上(H31)	H29年12月

### ●総合戦略での事業の位置づけ

1. 安全で安心な時代に合ったまちをつくる	⑥高齢化社会への対応
-----------------------	------------

基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
基本目標Ⅲ	郷土愛あふれる教育のまち
2	高齢化社会への対応
2	生涯教育・スポーツの推進
高齢者の活躍場所の拡大支援／スポーツ活動の支援	

事業年度	⌵	29	30	31	⌵
------	---	----	----	----	---

事業名	各種高齢者スポーツ大会事業
所管	教育課

### ●事業の内容

目的	高齢者の諸活動への参加を促すため、諸施策を推進し、高齢者が年齢に応じた社会的能力を高め、積極的な社会参加や役割分担をおこない、生きがいのある生活を樹立すること
事業の概要	本州最南端グラウンド・ゴルフ大会【12月】 本州最南端寿野球大会【3月】 サン・ナンタンゲートボール大会等の開催【12月】
成果目標	【H28年度実績】 本州最南端グラウンド・ゴルフ大会参加者1,135名 サン・ナンタン串本ゲートボール大会157人 本州最南端寿野球大会16チーム 前年度の参加者・チーム数を上回ることを目標とする。
達成状況	達成度

### ●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		1,980	1,980	1,980	5,940
財源見込	国・県支出金				
	一般財源	1,980	1,980	1,980	5,940
	その他				

### ●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
生涯スポーツ大会 3回開催／年	

### ●総合戦略での事業の位置づけ

1. 安全で安心な時代にあったまちをつくる	⑥高齢化社会への対応
2. 串本町へ新しい人の流れをつくる	③地域資源を活かした交流の推進
4. 安定した雇用をつくる	①観光振興による地域経済活性化

					基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
					2	高齢化社会への対応
事業年度	»	29	30	31	»	高齢者の活躍場所の拡大支援
事業名	全国健康福祉祭(ねんりんピック)和歌山大会開催準備事業					
所管	福祉課					

### ●事業の内容

目的	健康及び福祉に関する積極的かつ総合的な普及活動の展開を通じ、高齢者を中心とする健康の保持・増進、社会参加、生きがいの高揚等を図り、ふれあいと活力のある長寿社会の形成に寄与することを目的とする。	
事業の概要	<p>H31年度に和歌山県において「ねんりんピック紀の国わかやま2019」が開催される。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催期間 H31年11月9日から11月12日までの4日間</li> <li>・参加者 選手、役員が全国から約1万人。(選手は60歳以上)</li> <li>・開催市町 21市町</li> <li>・開催種目 27種目</li> </ul> <p>&lt;串本町での競技種目等&gt;  【競技種目】 サッカー  【開催場所】 サン・ナンタンランド 多目的グラウンド</p> <p>&lt;事業費&gt;  事業概要が未確定のため、H30年度・H31年度の事業費については、H27年度(2015)ねんりんピック山口大会のサッカー競技会場である、山陽小野田市における実績額を仮に記入しておくものとする。</p>	
成果目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H29年9月9日～9月12日に開催される「ねんりんピック秋田2017」を、視察・調査する。</li> <li>・H30年度の市町村実行委員会の立ち上げに向けて準備を進める。</li> </ul>	
達成状況		達成度

### ●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		706	1,280	9,713	11,699
財源見込	国・県支出金	75	816	5,863	6,754
	一般財源	631	464	3,850	4,945
	その他				

### ●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
スポーツ大会の誘致及び開催 15回以上(5年間累計)	

### ●総合戦略での事業の位置づけ

1. 安全で安心な時代に合ったまちをつくる	⑥高齢化社会への対応
3. 串本町へ新しい人の流れをつくる	③地域資源を活かした交流の推進

					基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
					2	高齢化社会への対応
事業年度	⌵	29	30	31	⌶	高齢者に優しい社会の実現
事業名	緊急通報システム運営事業					
所管	福祉課					

●事業の内容

目的	一人暮らしの高齢者及び重度身体障害者等の急病や事故等の緊急事態に対処するとともに、平時の安否確認を実施するため、緊急通報システムの装置を設置することにより、日常生活における不安の解消及び安全の確保を図ることを目的とする。	
事業の概要	<p>実施主体は申本町とし、本事業を民間事業者へ委託して実施するものとする。</p> <p>【対象者】 住民基本台帳に記録されている在宅の65歳以上の心身病弱な独居高齢者又は心身病弱な高齢者のみの世帯の者で、かつ、継続して安否の確認をする必要がある者、若しくは、身体障害者手帳1級又は2級の交付を受けている者。</p> <p>【受信センター】 受託者は、緊急通報システム受信等の設備を整えとともに、保健師や看護師等の専門スタッフが24時間体制で利用者からの通報・相談を受け、その状況を迅速に把握し、適切な措置・対応を講じるため、受信センターを置く。</p> <p>【利用者負担】 装置の電気代及び利用者からのシステム通話料は自己負担とする。故意・過失による装置の紛失・故障について補てん・修理費を負担するものとする。</p>	
成果目標	本事業を通じ、一人暮らしにおける不安を払拭し、安心して日々の生活が送れることに寄与するため、今後も継続して実施することが必要である。	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		2,009	2,009	2,009	6,027
財源見込	国・県支出金	1,175	1,175	1,175	3,525
	一般財源	834	834	834	2,502
	その他				

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
—	

●総合戦略での事業の位置づけ

1. 安全で安心な時代に合ったまちをつくる	⑥高齢化社会への対応
-----------------------	------------

					基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
					2	高齢化社会への対応
事業年度	⌵	29	30	31	⌶	高齢者に優しい社会の実現
事業名	敬老会事業					
所管	福祉課					

●事業の内容

目的	多年にわたり社会に貢献された高齢者の方々に敬意を表し、長寿を祝福するため、敬老会を開催する。また、90歳以上の方について、年齢に応じた記念品を贈呈する。	
事業の概要	<p>毎年、敬老の日の前後に長寿をお祝いする敬老会を開催する。また、90歳以上の高齢者に対し、年齢区分に応じた記念品を贈呈する。 本事業については、各区及び婦人会等に委託して実施する。</p> <p>【敬老会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委託料 対象人数×1,000円</li> <li>・対象者 75歳以上の高齢者</li> </ul> <p>【記念品】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・90歳以上94歳未満 商品券 3,000円</li> <li>・95歳以上100歳未満 商品券 5,000円</li> <li>・100歳以上 商品券10,000円</li> </ul>	
成果目標	長寿をお祝いする住民意識の高揚を図るとともに老人福祉の向上につなげるため、今後も継続して実施することが必要である。	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		6,451	6,451	6,451	19,353
財源見込	国・県支出金				
	一般財源	6,451	6,451	6,451	19,353
	その他				

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
—	

●総合戦略での事業の位置づけ

1. 安全で安心な時代に合ったまちをつくる	⑥高齢化社会への対応
-----------------------	------------

基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
3	出会い・結婚支援
若者出会いの場創出支援	

事業年度	⌵	29	30	31	⌶
------	---	----	----	----	---

事業名	であいふれあい事業
所管	企画課

●事業の内容

目的	現在、日本全体の傾向と同じく、本町も晩婚化・未婚化の傾向が強まりつつある。経済的な理由もある一方で、若者の結婚に対する意識の変化、出会いの機会の欠如などが考えられる。都市部と比較すると民間の婚活イベントの開催が少ない地域であるため、町が婚活イベントを実施することで、新たな男女の出会いの場を提供し、結婚に対する意識の醸成を目的とする。
事業の概要	串本町に縁のある男性(在住・在勤)と全国各地の女性を対象とした様々な体験をしながら親睦を深める事業を企画する事業所に委託し実施する。
成果目標	H28年度の年1回の婚活イベントでは、参加人数47名(男性24名、女性23名)の内カップルが8組成立。この結果を受け、年1回のイベントで男女それぞれ20名以上ずつの参加を目指す。また、参加者がイベント後も串本町を訪れたいよう町をアピールするような内容を企画する。
達成状況	達成度

●事業費概算(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費	1,400	1,400	1,400	4,200
財源見込	国・県支出金			
	一般財源			
	その他	1,400	1,400	1,400

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
婚活セミナー・イベント 1回開催/年	H29年12月

●総合戦略での事業の位置づけ

2. 若い世代に優しいまちをつくる	①出会い・結婚支援
-------------------	-----------

基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
3	出会い・結婚支援
結婚生活支援	

事業年度	》	29	30	31	》
------	---	----	----	----	---

事業名	結婚祝い金事業
所管	企画課

### ●事業の内容

目的	町民及び婚姻後本町に住居登録をし、居住する夫婦に対し、その結婚を奨励祝福し、結婚祝い金を支給することにより、町の活性化に資する。
事業の概要	<p>【支給対象者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H22年12月1日以降に婚姻届を提出し、婚姻日から起算して90日以内であること。</li> <li>・住民基本台帳法に基づく本町の住民基本台帳に記載され、引き続き町内に在住する意思を有すること。</li> <li>・町民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税及び後期高齢者医療保険料、介護保険料、保育料、各種町営施設使用料、各種手数料、各種貸付金並びに水道料金を滞納していないこと。</li> <li>・過去において、夫婦のいずれかが、この祝い金の支給を受けていないこと。</li> </ul> <p>【祝い金の額等】</p> <p>1組につき5万円を串本町商工会が発行する商品券で支給。</p>
成果目標	本町において晩婚化・未婚化が進む傾向は強まりつつあり、その背景には結婚資金のような経済的な問題もあることから、安定した生活の場の形成造り等を引き続き支援し、支給件数を34件/年とする。
達成状況	達成度

### ●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		2,250	2,250	2,250	6,750
財源見込	国・県支出金				
	一般財源	50	50	50	150
	その他	2,200	2,200	2,200	6,600

### ●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
結婚祝い金事業 34件(H26) → 現状維持(H31)	

### ●総合戦略での事業の位置づけ

2. 若い世代に優しいまちをつくる	①出会い・結婚支援
-------------------	-----------

基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
4	出産・子育て支援
出産支援体制の充実	

事業年度	⌵	29	30	31	⌶
------	---	----	----	----	---

事業名	一般不妊・不育治療費助成事業
所管	福祉課

### ●事業の内容

目的	<p>○一般不妊治療費助成事業 不妊や不育に悩む夫婦に対し、体外受精及び顕微授精を除く不妊治療及び不育治療（一般不妊治療）に要する費用の一部を助成することにより、その経済的負担の軽減を図り、もって一般不妊治療を受けやすい環境づくりに資することを目的とする。</p> <p>○未熟児養育医療 生後速やかに適切な処置を講ずることが必要な未熟児に対し、養育に必要な医療の給付を行うことにより、乳児の健康管理と健全な育成を図ることを目的とする。</p> <p>○特定不妊治療費助成（H29年度より新規実施）・・・「基本計画」に記載されていない事業 不妊治療のうち、体外受精及び顕微授精についての治療費の一部を助成することにより、その経済的負担の軽減を図ることを目的とする。</p>
事業の概要	<p>○一般不妊治療費助成 【対象治療】 医療保険各法に規定する療養の給付が適用となる不妊治療及び不育治療 【対象経費】 一般不妊治療に要する費用の自己負担分 【助成額】 上限30,000円</p> <p>○未熟児養育医療費助成 養育のため病院又は診療所に入院することを必要とする未熟児に対し、その養育に必要な医療の給付を行い、又はこれに代えて養育医療に要する費用を支給する。当該措置を受けた者は、徴収金を支払う。</p> <p>○特定不妊治療費助成 【対象治療】 医療保険各法に規定する療養の給付が適用となる不妊治療及び不育治療 【対象経費】 特定不妊治療に要する費用の自己負担分 【助成額】 上限100,000円（初回50,000円）</p>
成果目標	本人の身体的、精神的負担の軽減や、より安心、安全な妊娠、出産に資するという観点から、今後も引き続き支援が必要である。
達成状況	達成度

### ●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		2,460	2,460	2,460	7,380
財源見込	国・県支出金	1,745	1,745	1,745	5,235
	一般財源	715	715	715	2,145
	その他				

### ●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
――	

### ●総合戦略での事業の位置づけ

2. 若い世代に優しいまちをつくる	②出産・子育て・教育支援
-------------------	--------------

基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
4	出産・子育て支援
出産支援体制の充実	

事業年度	》	29	30	31	》
------	---	----	----	----	---

事業名	出産祝金事業
所管	こども未来課

●事業の内容

目的	少子化対策と出産に対する経済的負担の軽減を図るため、出産祝金を支給し、将来の地域づくりを担う出生児の健全な育成を図ることを目的とし、第3子以降の出産に対し出産祝金を支給する。	
事業の概要	第3子に対しては10万円、第4子以降に対しては30万円の出産祝金を支給する。	
成果目標	町の出生数は減少傾向にあるが、第3子以降の出生数は横ばいであるので、少子化対策として制度を継続する。 出産祝金 15件／年	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		2,500	2,500	2,500	7,500
財源見込	国・県支出金				
	一般財源				
	その他	2,500	2,500	2,500	7,500

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
出産祝金 15件／年	

●総合戦略での事業の位置づけ

2. 若い世代に優しいまちをつくる	②出産・子育て・教育支援
-------------------	--------------

					基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
					4	出産・子育て支援
事業年度	②	②9	③0	③1	③	各種相談・教室・健診等体制の充実
事業名	マタニティ教室・離乳食教室等各種教室の支援整備事業					
所管	福祉課					

●事業の内容

目的	<p>○マタニティ教室 妊婦さんの不安や悩みを解消し、正しい知識をつけて、安心して出産に迎えられるよう、また、同じ時期のお母さん同士の情報交流を促進し、出産後も親子そろって交流を続けられることを目的とする。</p> <p>○離乳食教室 月齢に応じた食事の内容や固さ、食べ方のポイント等について確認し、離乳食の進め方について保護者が学べることを目的とする。</p>	
事業の概要	<p>○マタニティ教室（4回/年） 助産師、保健師、管理栄養士が参加妊婦の中に入り、妊娠中や出産、産後、育児について不安や悩みを聞き出しながら学習する場・交流の場を提供するとともに、出産を迎える妊婦、家族が安心してお産に臨む、その後の育児に向き合えるよう支援する。</p> <p>○離乳食教室（6回/年） 離乳食初期から完了期まで、参加児の月齢に応じて離乳食づくりを栄養士と一緒に体験し、内容・量について確認するとともに、保護者が、その子に応じた離乳食を無理なく作ることができ、食事を楽しめる児・家族が増えるよう支援する。</p>	
成果目標	<p>○マタニティ教室(4回/年)</p> <p>○離乳食教室(6回/年)</p>	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		97	97	97	291
財源見込	国・県支出金				
	一般財源	97	97	97	291
	その他				

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
マタニティ教室開催 4回/年	H29年12月

●総合戦略での事業の位置づけ

2. 若い世代に優しいまちをつくる	②出産・子育て・教育支援
-------------------	--------------

					基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
					4	出産・子育て支援
事業年度	②	②9	③0	③1	③	各種相談・教室・健診等体制の充実
事業名	こんにちは赤ちゃん訪問事業					
所管	福祉課					

●事業の内容

目的	生後4か月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供等を行うとともに、親子の心身の状況や養育環境等の把握や助言を行い、支援が必要な家庭に対しては適切なサービス提供につなげ、乳児のいる家庭と地域社会をつなぐ最初の機会とすることにより、乳児家庭の孤立化を防ぎ、乳児の健全な育成環境の確保を図ることを目的とする。	
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生後4か月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、育児等に関する様々な不安や悩みを聞き相談に応じるほか、子育て支援に関する情報提供等を行う。</li> <li>・親子の心身の状況や養育環境等の把握及び助言を行い、支援が必要な家庭に対し適切なサービス提供につなげる。</li> <li>・訪問結果により、支援が必要と判断された家庭について、適宜、関係者によるケース会議を行い、養育支援訪問事業をはじめとした適切なサービスの提供につなげる。</li> </ul>	
成果目標	・訪問率を100%とする。ただし、里帰り等で訪問できなかった場合は電話連絡等で状況を把握し、未把握児を作らない。	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		25	25	25	75
財源見込	国・県支出金				
	一般財源	25	25	25	75
	その他				

●総合戦略での成果目標

指 標		改訂
訪問率	83%(H26) → 100%(H31)	

●総合戦略での事業の位置づけ

2. 若い世代に優しいまちをつくる	②出産・子育て・教育支援
-------------------	--------------

基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
4	出産・子育て支援
各種相談・教室・健診等体制の充実	

事業年度	》	29	30	31	》
------	---	----	----	----	---

事業名	乳幼児健康診査事業
所管	福祉課

●事業の内容

目的	乳幼児期の心身の健康や発達の状況を定期的に診査し、疾患や障害の可能性を早期に発見・把握し対応することを目的とする。
事業の概要	○4か月児健診 1回／月（身体測定、内科診察、発達確認、保健指導、離乳食指導） ○10か月児健診 1回／月（身体測定、内科診察、発達確認、保健指導、離乳食指導、ブックスタート） ○1歳8か月児健診 1回／2月（身体測定、内科診察、歯科診察、発達確認、保健指導、ブラッシング指導） ○2歳6か月児健診 1回／2月（身体測定、内科診察、発達確認、保健指導、ブラッシング指導） ○3歳6か月児健診 1回／2月（身体測定、内科診察、歯科診察、発達確認、保健指導、ブラッシング指導）
成果目標	・乳幼児健診後のフォローアップを確実にを行い、支援の必要な母子を支援する。 保健所の発達相談などの支援事業や、親子教室への勧奨、精密検査による早期発見、治療など。 H31年度 受診率100%を目指す。
達成状況	達成度

●事業費概算(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費	1,973	1,973	1,973	5,919
財源見込	国・県支出金			
	一般財源	1,973	1,973	5,919
	その他			

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
受診率 93%(H26) → 100%(H31)	

●総合戦略での事業の位置づけ

2. 若い世代に優しいまちをつくる	②出産・子育て・教育支援
-------------------	--------------

					基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
					4	出産・子育て支援
事業年度	②	②9	③0	③1	③	各種相談・教室・健診等体制の充実
事業名	発達相談指導事業					
所管	福祉課					

●事業の内容

目的	乳幼児健診後の発達フォロー児の保護者が児の発達課題・発達段階について理解し、育てにくさへの「気づき」を支援することで児の豊かな発達を保障することを目的とする。	
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達相談指導事業 H29年度 17回／年</li> <li>・通園施設の協力による発達、発育の気になる親子対象の親子教室 「きらきらくらぶ」、「おひさまくらぶ」</li> <li>・保健所事業への参加 医師による発達相談(年4回)、言葉の相談(年3回)、作業療法(年8回)</li> </ul>	
成果目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援センター、こども未来課、福祉課、教育課、児童相談所の連携により、要支援家庭への見守り支援態勢及び母子の交流できる機会や環境を提供する。</li> <li>・発達相談 15回以上開催維持</li> </ul>	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		1,470	1,470	1,470	4,410
財源見込	国・県支出金				
	一般財源	1,470	1,470	1,470	4,410
	その他				

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
発達相談指導 17回開催／年	H29年12月

●総合戦略での事業の位置づけ

2. 若い世代に優しいまちをつくる	②出産・子育て・教育支援
-------------------	--------------

基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
4	出産・子育て支援
職業と家庭生活の両立支援	

事業年度	⌵	29	30	31	⌶
------	---	----	----	----	---

事業名	学童保育事業
所管	こども未来課

●事業の内容

目的	児童福祉法(昭和22年法律第164号)第34条の8第1号の規定により、保護者が就労、病気その他の理由で下校後の児童を保育することができない場合における当該児童の健全な育成を図ることを目的とする。
事業の概要	<p>【対象者】 町内に住所を有し、小学校(1年生から6年生)に通学する児童で、放課後家庭で保育を受けることができない児童</p> <p>【現在の開設場所】(全校に学童保育所を設置(H28年度より))          ・串本学童保育所 串本小学校内 ・古座学童保育所 串本町子育て支援センター内          ・潮岬学童保育所 私有家屋借家 ・出雲学童保育所 出雲小学校内          ・錦富学童保育所 (旧)錦富小学校</p> <p>【開設時間】 平日、下校時～午後7時00分迄 土曜日、春・夏・冬休みは、午前8時00分～午後7時00分迄          ・6年生まで受入対象を拡大。</p> <p>・利用児童の増加により、施設改修や新設等で、待機児童を出さないための取組を進める。          ・送迎手段の見直しにより、それにかかる経費の削減を図る。</p>
成果目標	対象年齢の引き上げにより利用者が増えている。今後は待機児童を出さないため、施設の新築、整備等を検討し進めていく。
達成状況	達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		51,562	51,562	51,562	154,686
財源見込	国・県支出金	30,460	30,460	30,460	91,380
	一般財源	16,590	16,590	16,590	49,770
	その他	4,512	4,512	4,512	13,536

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
_____	

●総合戦略での事業の位置づけ

2. 若い世代に優しいまちをつくる	②出産・子育て・教育支援
-------------------	--------------

基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
4	出産・子育て支援
職業と家庭生活の両立支援	

事業年度	⌋	29	30	31	⌋
------	---	----	----	----	---

事業名	学校給食事業
所管	教育課

●事業の内容

目的	安心安全な学校給食を安定して提供できるよう努めるとともに、給食施設、設備等の維持・改善に取り組む。	
事業の概要	給食開始後1年が経ち、ある程度安定して給食の提供を行えるようになってきたので、さらにそれを充実させる。また施設、設備について維持する。	
成果目標	給食の安定供給を目指す	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		159,588	159,588	159,588	478,764
財源見込	国・県支出金				
	一般財源	23,480	114,084	114,084	251,648
	その他	136,108	45,504	45,504	227,116

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
――	

●総合戦略での事業の位置づけ

2. 若い世代に優しいまちをつくる	②出産・子育て・教育支援
-------------------	--------------

基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
4	出産・子育て支援
職業と家庭生活の両立支援	

事業年度	⌋	29	30	31	⌋
------	---	----	----	----	---

事業名	一時預かり保育事業
所管	こども未来課

●事業の内容

目的	少子化や地域社会の変化に伴い、核家族や共働き家庭が増加する中で、保護者の仕事と育児の両立を支援する為、また育児の不安や悩みを持っている保護者の負担を軽減する為、子育て支援の立場から「預かり保育」を実施する。幼稚園においても保育終了後や長期休暇中に一時的に園児の預かりを行うことで、保護者の育児負担の軽減を図る。(継続事業)
事業の概要	幼稚園、こども園において、在園児の保育時間終了後、保護者の就労や育児負担軽減のための一時預かり保育を実施し、保護者の仕事と育児の両立、保護者の育児の負担軽減のための支援を行う。
成果目標	預かり延べ人数 ( )内は実施日数 ・串本幼稚園 26年度 2,419人(217日) 27年度 1,511人(232日) 28年度 2,210人(235日) ・潮岬幼稚園 26年度 2,304人(230日) 27年度 2,433人(227日) 28年度 2,471人(226日) 串本幼稚園においては、平成29年度より幼保連携型認定こども園となったため、1号認定児の預かり保育について条件を見直した。今後潮岬幼稚園との条件調整が必要となるが、事業としては継続して行っていく。
達成状況	達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		1,286	1,286	1,286	3,858
財源見込	国・県支出金	857	857	857	2,571
	一般財源	429	429	429	1,287
	その他				

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
_____	

●総合戦略での事業の位置づけ

2. 若い世代に優しいまちをつくる	②出産・子育て支援
-------------------	-----------

基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
4	出産・子育て支援
子育て環境支援	

事業年度	②	②9	③0	③1	③
------	---	----	----	----	---

事業名	子育て支援センター事業
所管	こども未来課

### ●事業の内容

目的	<p>少子化や核家族化による地域社会の変化により、子どもや子育てを巡る環境が大きく変化し、家庭や地域での子育て機能の低下や子育て中の親の孤独感・不安感といった多くの問題が生じている。</p> <p>子育て支援センターを設置することにより、保育所、幼稚園等に通所前の、在宅で育児をしている親子の交流を促進し、育児に関する相談を受けることで、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和することを目的とする。</p>				
事業の概要	<p>社会福祉法人上野山保育所及びNPO法人あつたカフェへそれぞれ事業を委託して実施している。H29年度開園のくしもとこども園内にも子育て支援センター「ぽかぽか園」を開設し、子育てを行う場の充実を図る。</p> <p>(事業内容)</p> <p>①子育て親子の交流の場の提供と交流の促進 ②子育て等に関する相談、援助の実施 ③地域の子育て関連情報の提供 ④子育て及び子育て支援に関する講習等の実施 ⑤保護者が一時的に家庭での保育が困難となった場合や育児疲れなどの負担軽減のため、未就園児の一時預かり保育事業を実施</p>				
成果目標	<p>利用者数(延べ) 27年度・保護者2,820人 子ども 3,363人 28年度・保護者1,837人 子ども 2,414人 利用者数は、全体的に子どもの数が減っているため、また共働き家庭の増加により低年齢より保育所等へ入所させる家庭が増えていることにより、平日の利用者が減っているものと思われるが、新たな利用者を増やしていくよう事業内容等を再検討していく。</p>				
達成状況	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 80%;"></td> <td style="width: 20%; text-align: center;">達成度</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>		達成度		
	達成度				

### ●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		12,924	12,924	12,924	38,772
財源見込	国・県支出金	8,616	8,616	8,616	25,848
	一般財源	4,308	4,308	4,308	12,924
	その他				

### ●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
利用人数(延べ) 保護者3,322人(H26) 子ども4,014人(H26) → 利用数減少予想の中、現状維持	

### ●総合戦略での事業の位置づけ

2. 若い世代に優しいまちをつくる	②出産・子育て・教育支援
-------------------	--------------

基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
4	出産・子育て支援
子育て環境支援	

事業年度	》	29	30	31	》
------	---	----	----	----	---

事業名	第3子以降に係る保育料助成制度
所管	こども未来課

●事業の内容

目的	県の施策である紀州3人っ子施策として、第3子以降の保育料の無料化が取り組まれている。串本町においても、多子世帯が安心して子育てができる支援体制を構築し、少子化対策の推進を行うことを目的とする。	
事業の概要	条例整備等を行い、町内のこども園、保育所、幼稚園等に通園する第3子以降の子どもの保育料を無料とする。また、児童発達支援センター等に通所する第3子以降の保育料については助成する。	
成果目標	国、県の制度に添った支援を継続し、子育て世帯に対する支援の取組みにより安心して産み育てることができる地域環境の構築を図る。	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		10,960	10,960	10,960	32,880
財源見込	国・県支出金	5,480	5,480	5,480	16,440
	一般財源	5,480	5,480	5,480	16,440
	その他				

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
――	

●総合戦略での事業の位置づけ

2. 若い世代に優しいまちをつくる	②出産・子育て・教育支援
-------------------	--------------

					基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
					4	出産・子育て支援
事業年度	》	29	30	31	》	子育て環境支援
事業名	家庭内育児支援事業					
所管	福祉課					

●事業の内容

目的	保護者が、子どものことで気がかりや悩みが出てきた際の、気軽に相談できる場又は仲間づくりの場を提供し、孤立することなく今後の子育ての見通しが立てられるよう支援することを目的とする。	
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「かるがもひろば」の開催 1回/月(子育て支援センターにて実施)</li> <li>・広報活動 子育てに関する部門が集まって一本化したパンフレットを作製・配布</li> <li>・子育て支援ネットワーク会議の開催を継続し、情報共有する。</li> <li>・赤ちゃん訪問や健診の場で保護者との関係づくり(保健師)</li> <li>・各支援センターへの保健師訪問の実施</li> </ul>	
成果目標	保護者が子育てに関する気がかりや悩みを相談できる場・人を利用することができ、不安を持ちながらも子育てを前向きに捉えられる保護者が増えること。	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		150	150	150	450
財源見込	国・県支出金				
	一般財源	150	150	150	450
	その他				

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
_____	

●総合戦略での事業の位置づけ

2. 若い世代に優しいまちをつくる	②出産・子育て・教育支援
-------------------	--------------

基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
4	出産・子育て支援
子育て環境支援	

事業年度	⌵	29	30	31	⌶
------	---	----	----	----	---

事業名	児童虐待・DV等による相談業務の充実
所管	こども未来課

●事業の内容

目的	児童に関する母子生活支援・育児支援として、また児童虐待、DV等への早期対応、防止対策として、こども未来課に子育て支援室を設置し、地域、関係機関との連絡・調整機関としての役割を推進し、児童の健全育成支援対策を進める。
事業の概要	こども未来課に子育て支援室「りぼん」を設置し、相談窓口を一本化することにより、いち早く地域、関係機関との連絡調整、連携を取りながら、支援対策の充実に努める。
成果目標	地域における関係機関との連絡・調整機関としての役割を果たすことで、児童虐待、DV等への早期対策を図り、児童の健全育成支援を行う。
達成状況	達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		244	244	244	732
財源見込	国・県支出金				
	一般財源	244	244	244	732
	その他				

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
_____	

●総合戦略での事業の位置づけ

2. 若い世代に優しいまちをつくる	②出産・子育て・教育支援
-------------------	--------------

基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
4	出産・子育て支援
子育て環境支援	

事業年度	》	29	③0	③1	》
------	---	----	----	----	---

事業名	出産・子育て支援情報の一元化事業
所管	福祉課・こども未来課

●事業の内容

目的	妊産婦及び乳幼児の実情を把握し、妊娠・出産・育児に関する各種の相談に応じ、必要に応じて支援プランの策定、地域の保健医療・福祉・教育に関する機関と連携調整を行い、母子保健と子育て支援施策との一体的な提供を通じて、妊産婦及び乳幼児の健康の保持増進に関する包括的な支援を行うことにより、もって地域の特性に応じた妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援を提供する体制を構築することを目的とする。	
事業の概要	妊娠期から子育て期にかかわる地域の保健医療・福祉・教育に関する関係機関と協議しながら、H30年度を目標に「子育て世代包括支援センター」を設立し、サポート体制を構築する。	
成果目標	子育て包括支援センターの設置 分かりやすい利用しやすい仕組みづくりの構築	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
財源見込	事業費	-	7,000	7,000	14,000
	国・県支出金		4,666	4,666	9,332
	一般財源		2,334	2,334	4,668
	その他				

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
———	

●総合戦略での事業の位置づけ

2. 若い世代に優しいまちをつくる	②出産・子育て・教育支援
-------------------	--------------



# 基本目標Ⅲ

## 郷土愛あふれる教育のまち

基本目標Ⅲ	1	学校教育の充実
	2	生涯教育・スポーツの推進
	3	青少年健全育成の推進
	4	文化交流の推進
	5	歴史・文化・芸術の振興

### まち・ひと・しごと創生総合戦略上の主要対象項目

1. 安全で安心な時代に合ったまちをつくる	⑤環境保全対策の推進
	⑥高齢化社会への対応
2. 若い世代に優しいまちをつくる	②出産・子育て・教育支援
3. 串本町へ新しい人の流れをつくる	③地域資源を活かした交流の推進



					基本目標Ⅲ	郷土愛あふれる教育のまち
					1	学校教育の充実
事業年度	》	29	30	31	》	教育環境の整備・充実
事業名	小中学校統廃合の検討推進事業					
所管	教育課					

●事業の内容

目的	適正規模の学校づくりを目指していく。	
事業の概要	統廃合が予定されている学区の保護者及び就学前児童保護者に説明会を開催し、地域住民の理解と同意を得ながら児童生徒にとって最良な学校統廃合を慎重に推進していく。	
成果目標	串本中・大島中の統合（平成30年度統合予定）、出雲小・串本小の統合、田原小・古座小の統合に向けて保護者及び地域関係者の意見の聴取や説明会を実施していく。	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費	-	-	-	-
財源見込	国・県支出金			
	一般財源			
	その他			

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
――	

●総合戦略での事業の位置づけ

――	――
----	----

基本目標Ⅲ	郷土愛あふれる教育のまち
1	学校教育の充実
教育環境の整備・充実	

事業年度	⌋	29	30	31	⌋
------	---	----	----	----	---

事業名	学校給食を通じた食育の推進
所管	教育課

●事業の内容

目的	安心安全な学校給食を提供するとともに、学校給食を通じて、子どもたちが体に必要な栄養素や健康的な食生活、また食文化や食材の旬・産地・生産者等について、理解と関心を深めることを目的とする。	
事業の概要	旬の食材や季節行事、地場産物、地域の歴史や文化に関連した食材や献立を学校給食に取り入れ、日本の食文化や串本町について学習するための生きた教材として活用する。また学校と連携し、教科に関連づけた指導ができるような献立や資料を提供する。	
成果目標	学校栄養職員による衛生指導については各学校年1回以上を目標とする。また「給食だより」の発行については、年3回以上とする。	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
財源見込	事業費	-	-	-	-
	国・県支出金				
	一般財源				
	その他				

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
――	

●総合戦略での事業の位置づけ

――	――
----	----

基本目標Ⅲ	郷土愛あふれる教育のまち
1	学校教育の充実
教育環境の整備・充実	

事業年度	》	29	30	31	》
------	---	----	----	----	---

事業名	串本古座高等学校との協力及び連携事業
所管	企画課・産業課・総務課・教育課

●事業の内容

目的	串本古座高等学校の魅力化及び活性化を図る。	
事業の概要	串本古座高等学校の魅力化及び活性化に向けて、平成28年7月に地域協議会を設立、H29年度からの全国募集のサポート体制の確立を図り、カリキュラムの充実と生徒用宿舎の確立を目指すことになったため、地域協議会へ負担金を拠出する。	
成果目標	全国募集を実施し、3年間(H29年度～31年度)で15名の入学希望者を目標とする。	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費	2,990	2,990	2,990	8,970
財源見込	国・県支出金			
	一般財源		2,990	2,990
	その他	2,990		2,990

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
――	

●総合戦略での事業の位置づけ

3. 串本町へ新しい人の流れをつくる	③地域資源を活かした交流の推進
--------------------	-----------------

					基本目標Ⅲ	郷土愛あふれる教育のまち
					1	学校教育の充実
事業年度	》	29	30	31	》	特色ある教育の推進
事業名	学校情報セキュリティ強靱化システム事業					
所管	教育課					

●事業の内容

目的	<p>文部科学省より「教育情報セキュリティのための緊急提言」が出され、その内容に基づき、必要なセキュリティ対策を実施する。</p> <p>また、国が進めるICT教育環境整備に基づき、児童生徒がコンピューターや情報通信ネットワークなどの情報手段を適正かつ主体的、積極的に活用することができる環境整備を進めることを目的とする。</p>	
事業の概要	<p>H29年度において、学校教育情報セキュリティシステムを整備する。</p> <p>来年度以降、第2期教育振興基本計画において、目標として掲げられている水準(コンピューターの必要台数の設置、電子黒板・実物投影機の整備、無線LAN整備率100%)の導入に向けて、段階的に整備していく。</p>	
成果目標	<p>学校教育情報セキュリティシステムの整備により、安全なネットワーク環境のなかで、児童生徒が、コンピューターや情報通信ネットワークなどの情報手段に慣れ親しみ、文字を入力するなどの基本的操作および情報モラルを身につける。</p> <p>またコンピューターや情報通信ネットワークなどの情報手段を適正かつ主体的、積極的に活用ことができ、情報処理・発信技術を身につける。</p>	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		3,237	5,549	5,549	14,335
財源見込	国・県支出金				
	一般財源	3,237	5,549	5,549	14,335
	その他				

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
小中学校老朽化PC更新率 100%(5年以内)	

●総合戦略での事業の位置づけ

2. 若い世代に優しいまちをつくる	②出産・子育て・教育支援
-------------------	--------------

					基本目標Ⅲ	郷土愛あふれる教育のまち
					1	学校教育の充実
事業年度	》	29	30	31	》	特色ある教育の推進
事業名	歴史・文化財の保存継承事業					
所管	教育課					

●事業の内容

目的	郷土の貴重な財産である歴史的資料を次世代に保存継承する使命・責務がある。郷土の自然環境の保護・保存についての認識を深め、その活用を推進することを目的とする。	
事業の概要	郷土資源の認識を深める学習の場の提供と啓発努める。文化財保護の意識高揚や笠嶋遺跡出土品の周知並びに活用。また、郷土資料収集に取り組む。串本町の貝(森嶋コレクション)の図録を作成し、公開することで大切な郷土の歴史、自然を次世代に伝える。笠嶋遺跡の資料について無量寺にて保存する。文化財防火デーに消火訓練を実施。 笠嶋遺跡出土品保存委託 H29年度・・・360,000円	
成果目標	認識を深め、郷土の豊かな自然や文化に感心をもってもらう。 串本町の貝(森嶋コレクション)の図録作成並びに特別展の開催を目指す。収集した郷土資料を整理し、将来大切な教材として有効活用できる体制をつくる。	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		360	660	360	1,380
財源見込	国・県支出金				
	一般財源	360	660	360	1,380
	その他				

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
――	

●総合戦略での事業の位置づけ

2. 新しい世代に優しいまちをつくる	②出産・子育て・教育支援
3. 串本町へ新しい人の流れをつくる	①U・Iターン串本暮らしの推進

基本目標Ⅲ	郷土愛あふれる教育のまち
1	学校教育の充実
教職員教育体制の充実	

事業年度	⌵	29	30	31	⌶
------	---	----	----	----	---

事業名	教職員研修
所管	教育課

●事業の内容

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員が串本町の特色、教育概要及び課題等について理解を深めるとともに、自身の課題解決を図る。</li> <li>・学校の在り方をふまえ、地域社会の一員としての自覚をもって教育にあたるようにする。</li> </ul>				
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主に串本町立各小・中学校に配置された初任者を対象に県教育委員会と共に主催となって実施する。</li> <li>・実施期日は長期休業中の1日とし、研修内容の企画及び運営は県教育センター学びの丘の協力を得て串本町教育委員会が行う。</li> <li>・必要に応じて、中堅教員や養護教諭、管理職等対象者を指定した研修会を行う。</li> </ul>				
成果目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者全員が参加し、研修内容は自校に持ち帰って伝達・共有することを求める。</li> <li>・各校が実施するアンケート等で地域や子どもの実態に則した教育が行われているか等を問う項目において、8割以上が肯定的な意見となることを目指す。</li> </ul>				
達成状況	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 80%;"></td> <td style="width: 20%; text-align: center;">達成度</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>		達成度		
	達成度				

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		-	-	-	-
財源見込	国・県支出金				
	一般財源				
	その他				

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
――	

●総合戦略での事業の位置づけ

――	――
----	----

基本目標Ⅲ	郷土愛あふれる教育のまち
2	生涯教育・スポーツの推進
生涯教育・趣味活動支援	

事業年度	》	29	③0	31	④
------	---	----	----	----	---

事業名	文化自主事業公演助成事業
所管	教育課

●事業の内容

目的	町民が普段触れることのできない質の高い芸術に親しむ機会を提供し、地域芸術文化の向上に寄与する。	
事業の概要	2年に一度文化自主事業実行委員会により文化自主事業公演を実施。 H29は宝くじ文化公演に当選。 H29年度 宝くじ文化公演「オーケストラで歌う青春ポップスコンサート」 太田弘美、庄野真代、渡辺真智子、N響団オーケストラ	
成果目標	普段触れることのできない質の高い芸術を楽しむ機会を提供する。 来場者アンケートで満足(80%)を目指し、事業を開催する。 【H30年度開催】	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		-	2,000	-	2,000
財源見込	国・県支出金				
	一般財源		2,000		2,000
	その他				

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
――	

●総合戦略での事業の位置づけ

――	――
----	----

					基本目標Ⅲ	郷土愛あふれる教育のまち
					2	生涯教育・スポーツの推進
事業年度	》	29	30	31	》	生涯教育・趣味活動支援
事業名	成人教育講座開設事業					
所管	教育課					

●事業の内容

目的	成人に対する学習機会を拡大するとともに、社会的課題に対応した学習の展開を図り学びの場への積極的な参画を促し、生涯学習の重要性を理解・確認への方策を目的とする。	
事業の概要	公民館活動の一環として、成人教育講座を3回(6時間以上)開設する。学習内容は支館毎に計画し実施する。人権教育講座は、2時間以上開設する。	
成果目標	現代社会における問題や地域教育に関すること、人間の尊厳や基本的人権に係る学習の推進を図る。また、諸問題・課題に対する理解や解決に結びつけ、命の大切さ等再認識、幸福・有意義に過ごせる町づくりを目指す。 【H28年度実績】 8支館25講座実施/657人 H29年度7支館21講座600人 H30年度8支館24講座650人 H31年度7支館21講座600人を目標とする。	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		210	240	210	660
財源見込	国・県支出金				
	一般財源	210	240	210	660
	その他				

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
_____	

●総合戦略での事業の位置づけ

_____	_____
-------	-------

					基本目標Ⅲ	郷土愛あふれる教育のまち
					2	生涯教育・スポーツの推進
事業年度	⌋	29	30	31	⌋	生涯教育・趣味活動支援
事業名	老人クラブ助成事業					
所管	福祉課					

●事業の内容

目的	仲間づくりを通して、生きがいと健康づくり、生活を豊かにする楽しい活動を行うとともに、その知識や経験を生かして地域の各団体と共同し、地域を豊かにする社会活動に取り組み、明るい長寿社会づくり、保健福祉の向上に努めることを目的とする。 □	
事業の概要	<b>【団体数】</b> 46団体 <b>【会員資格】</b> 60歳以上の高齢者 <b>【会員数】</b> 2,118名（H29年4月1日現在） <事業内容> ・老人クラブに関する調査研究（全国老人クラブ大会等への出席） ・老人クラブ指導者の育成（単位老人クラブ指導者研修会、女性リーダー研修会等への出席） ・老人健康増進と老人福祉の広報宣伝（グラウンドゴルフ大会、ゲートボール大会、囲碁・将棋大会、レクリエーション大会の開催） ・その他目的達成に必要な事業	
成果目標	・地域高齢者の健康づくり、介護予防活動 ・在宅高齢者やその家族を支援する友愛活動 ・安全、安心の住みよいまちづくりを目指すボランティア活動 ・老人クラブの組織活動の強化 ・老人クラブ会員数 2,423人(H26) → 会員数維持(H31)	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		2,408	2,408	2,408	7,224
財源見込	国・県支出金	1,335	1,335	1,335	4,005
	一般財源	1,073	1,073	1,073	3,219
	その他				

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
老人クラブ会員数 2,423人(H26) → 会員数維持(H31)	

●総合戦略での事業の位置づけ

1. 安心で安心な時代に合ったまちをつくる	⑥高齢化社会への対応
-----------------------	------------

					基本目標Ⅲ	郷土愛あふれる教育のまち
					2	生涯教育・スポーツの推進
事業年度	》	29	30	31	》	生涯教育・趣味活動支援
事業名	公民館活動事業					
所管	教育課					

●事業の内容

目的	老若男女問わず、いつでも、どこでも、だれでも気軽に教育・学術・文化に関する事業を行い、その普及並びに向上に努め、地域住民の生活文化の進行・社会福祉の増進に寄与することを目的とする。	
事業の概要	各種講座・各種スポーツ大会・総合展示会・公民館報・地域の交流会等	
成果目標	人々のつながりの輪を深め、健康で豊かな心を育み、充実した日々を過ごせるよう地域活性化・コミュニティの場の提供。 本館・支館・分館(16公民館)において、各地域のニーズに即した事業を展開する。 【150事業】	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	845	計
事業費		18,425	18,425	18,425	55,275
財源見込	国・県支出金				
	一般財源	18,425	18,425	18,425	55,275
	その他				

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
——	

●総合戦略での事業の位置づけ

1. 安全で安心な時代に合ったまちをつくる	⑥高齢化社会への対応
2. 若い世代に優しいまちをつくる	②出産・子育て・教育支援

					基本目標Ⅲ	郷土愛ふあふれる教育のまち
					2	生涯教育・スポーツの推進
事業年度	》	29	30	31	》	スポーツ活動支援
事業名	町民大運動会事業					
所管	教育課					

●事業の内容

目的	老若男女問わず、町民が運動会に参加することによって、気軽にスポーツ、レクリエーションに親しむ機会の提供、町民相互の親睦、並びに健康で活力あるまちづくりに寄与することを目的とする。	
事業の概要	リレー、玉入れ等の地区対抗団体競技や老若男女が気軽に参加できるレクリエーション競技による大運動会を開催し町民の親睦を図る。	
成果目標	H28年度参加者 2,000人 前年度以上の参加者数を目標とする。	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		1,229	1,229	1,229	3,687
財源見込	国・県支出金				
	一般財源	1,229	1,229	1,229	3,687
	その他				

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
生涯スポーツ大会の開催 3回開催/年	

●総合戦略での事業の位置づけ

1. 安全で安心な時代に合ったまちをつくる	⑥高齢化社会への対応
2. 若い世代に優しいまちをつくる	②出産・子育て・教育支援

基本目標Ⅲ	郷土愛あふれる教育のまち
2	生涯教育・スポーツの推進
スポーツ活動支援	

事業年度	⌵	29	30	31	⌶
------	---	----	----	----	---

事業名	総合型地域スポーツクラブ事業
所管	教育課

●事業の内容

目的	総合型地域スポーツクラブ活動をとおして、地域住民の健康づくり、地域社会の活性化、健全育成に寄与することを目的とする。	
事業の概要	地域総合スポーツクラブと連携し、スポーツレクリエーション、スポーツ大会等開催。	
成果目標	総合型地域スポーツクラブに委託実施しているスポーツ大会 H28年度12大会 1,080人 前年度の大会実施回数、参加者増を目標とする。 総合型地域スポーツクラブの拠点施設である総合運動公園クラブハウスを活用した事業を実施する。	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		600	600	600	1,800
財源見込	国・県支出金				
	一般財源	600	600	600	1,800
	その他				

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
――	

●総合戦略での事業の位置づけ

――	――
----	----

基本目標Ⅲ	郷土愛あふれる教育のまち
2	生涯教育・スポーツの推進
スポーツ活動支援	

事業年度	》	29	30	31	》
------	---	----	----	----	---

事業名	総合運動公園等管理事業
所管	教育課

●事業の内容

目的	社会教育施設・総合運動公園は、地域住民やキャンプ誘致活動や利用者が快くスポーツできる機会と場所を提供するため、整備充実を図ることを目的とする。	
事業の概要	既存施設及び総合運動公園の天然芝の管理については、良好な状態を維持するため、整備充実に努める。総合運動公園施設については施設管理を委託している。	
成果目標	利用者に満足いただけるよう施設・天然芝の良好な状態を維持していく。 テニスやサッカー・野球を中心として天然芝のグラウンド貴重な施設であり利用者には満足されている。余暇を楽しく過ごせる場の提供と合宿誘致により串本町の活性化をはかり、施設利用者数を増やす。 H28年度実績 野球場6,000人 多目的G8,000人 雨天練習場11,000人 テニスコート3,000人 H28年度使用料 5,205千円 H29年度以降 5,500千円を目指す	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		19,440	19,440	19,440	58,320
財源見込	国・県支出金				
	一般財源	40	40	40	120
	その他	19,400	19,400	19,400	58,200

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
——	

●総合戦略での事業の位置づけ

3 串本町へ新しい人の流れをつくる	③地域資源を活かした交流の推進
-------------------	-----------------

					基本目標Ⅲ	郷土愛あふれる教育のまち
					3	青少年健全育成の推進
事業年度	》	29	30	31	》	地域ぐるみの活動促進
事業名	地域共育コミュニティ形成促進事業					
所管	教育課					

### ●事業の内容

目的	未来を担う子どもたちを健やかに育み、地域全体で子どもたちを育む体制づくりを目指すため、学校・家庭・地域が連携・協力して、教育支援活動に取り組み、その取り組みを通して、子どもも大人も共に育ち、育て合う地域共育コミュニティを形成することを目的とする。	
事業の概要	町内すべての小・中学校において、それぞれの地域の実状に応じた活動内容として、地域清掃活動、地域との合同防災学習・避難訓練、地域学習等の教育支援活動を実施。	
成果目標	<p>町内すべての小・中学校において、年間を通じて、地域共育コミュニティ活動を計画し、主体的かつ継続的に実施をしていくことで、以下のことを成果目標とする。</p> <p>○子どもにとって、地域の大人に支えられていることを実感し、町民としての自覚や地元への愛着心を育てること。地域の人たちとの活動や交流をくり返し、社会性やコミュニケーション能力を育てること。また、そうした体験を通して、学びへの意欲を高めること。</p> <p>○学校にとって、地域の協力・支援を受け、子どもに必要な体験や地域資源と結びついた豊かな教育活動を展開していくこと。</p> <p>○学校の教育活動に関わる機会が増え、学校への理解が深まり、子どもの学習や活動への関心が高まること。</p> <p>H28年度開催実績(152件)と同等以上を維持する。</p>	
達成状況		達成度

### ●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		708	708	708	2,124
財源見込	国・県支出金				
	一般財源	708	708	708	2,124
	その他				

### ●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
活動総数 150件を維持	H29年12月

### ●総合戦略での事業の位置づけ

2. 若い世代に優しいまちをつくる	②出産・子育て・教育支援
-------------------	--------------

基本目標Ⅲ	郷土愛あふれる教育のまち
3	青少年健全育成の推進
地域ぐるみの活動促進	

事業年度	⌵	29	30	31	⌶
------	---	----	----	----	---

事業名	読み聞かせ事業
所管	教育課

●事業の内容

目的	読み聞かせを行うことにより、子どもたちの豊かな心と知能の育成を目指す。幼少期より本に慣れ親しむことにより読書好きな子どもを育て、子どもの想像力・集中力・コミュニケーション能力等の向上を目指すことを目的とする。	
事業の概要	主に3歳以上の子どもを対象として、串本町図書館において毎月1回(年間12回)、「ぶっくらぶ串本」による読み聞かせ会を行う。読み聞かせのほか、折り紙や手遊びなども実施し、親子のコミュニケーションを図る機会の提供にもなっている。	
成果目標	5年間平均(H24～H27) 30人/年 H29年度～31年度 実績 50人/年 を目標とする。	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		54	54	54	162
財源見込	国・県支出金				
	一般財源	54	54	54	162
	その他				

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
――	

●総合戦略での事業の位置づけ

2. 若い世代に優しいまちをつくる	②出産・子育て・教育支援
-------------------	--------------

基本目標Ⅲ	郷土愛あふれる教育のまち
4	文化交流の推進
国際・国内都市との交流活動	

事業年度	⌋	29	30	31	⌋
------	---	----	----	----	---

事業名	国際交流事業
所管	総務課

### ●事業の内容

目的	当町の歴史やこれまでの取組みについて学べる機会を設け、誰もが郷土愛や郷土への誇りを持てるよう、国際交流事業に対する理解を深める。 特にトルコとの交流については、H32年度に実施予定の日本トルコ130周年事業により多くの町民の方々が関与していただき開催できる式典になるよう準備を進める。
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域おこし協力隊員を活用し、町内外小中学校で当町の国際交流事業の啓発活動を実施</li> <li>・ホームページでのトルコ、アメリカ、オーストラリアとの交流のPR</li> <li>・トルコ、アメリカ、オーストラリアからのホームステイ受け入れ家庭の維持</li> <li>・日ト友好キャラクター「まぐトル」を活用した「トルコ友好の町・串本」のPR</li> </ul>
成果目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校での啓発活動 5校／年</li> <li>・ホームページへの国際交流記事の掲載</li> <li>・新規ホームステイ受け入れ家庭の募集と応募 10軒</li> <li>・「まぐトル」町内認知度 90%</li> <li>・ゆるキャラグランプリ県内ランキング 1位</li> </ul>
達成状況	達成度

### ●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
財源見込	事業費	6,230	6,500	6,500	19,230
	国・県支出金				
	一般財源	6,230	6,500	6,500	19,230
	その他				

### ●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
—	

### ●総合戦略での事業の位置づけ

3. 串本町へ新しい人の流れをつくる	③地域資源を活かした交流の推進
4. 安定した雇用をつくる	①観光振興による地域経済活性化

基本目標Ⅲ	郷土愛あふれる教育のまち
4	文化交流の推進
国際・国内都市との交流活動	

事業年度	⌵	29	30	31	⌵
------	---	----	----	----	---

事業名	本州四端交流事業
所管	企画課

●事業の内容

目的	本州の四方位の最端の地(岩手県宮古市、山口県下関市、和歌山県串本町、青森県大間町)の自治体が地域特性を活かした交流を通して地域活性化を図ることを目的とする。	
事業の概要	国内の友好市町との交流を深め、地域活性化につながるような様々な取り組みを展開する。	
成果目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「本州四端踏破ラリー」の実施</li> <li>・本州四端首長交流会議の実施</li> <li>・本州四端各市町のイベント時において協議会のPRを実施</li> <li>・本州四端協議会事務担当者会議の開催</li> </ul>	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		486	384	286	1,156
財源見込	国・県支出金				
	一般財源	486	384	286	1,156
	その他				

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
――	

●総合戦略での事業の位置づけ

3. 串本町へ新しい人の流れをつくる	③地域資源を活かした交流の推進
4. 安定した雇用をつくる	①観光振興による地域経済活性化

基本目標Ⅲ	郷土愛あふれる教育のまち
5	歴史・文化・芸術の振興
歴史文化財の保全活動	

事業年度	⌵	29	30	31	⌶
------	---	----	----	----	---

事業名	町文化財等・文化活性化保存継承推進事業
所管	教育課

●事業の内容

目的	町内の文化的貴重な財産である有形文化財・民俗伝統文化財及び歴史的資料を次世代に保存継承することを目的とし、周知されていない文化財の調査研究を行うと共に住民が各種文化財等に触れ親しみ理解する機会の創設及び保存、保護継承する。
事業の概要	計画的に文化財の保護・保全・継承を行う。 H28. 29年度において国指定の美術工芸品善照寺の「絹本着色阿弥陀三尊像」の修繕を行う。 古座川河内祭への補助。 H29「古座川善照寺国重要文化財修理補助金」 146,000円 「古座川河内祭補助金」 1,300,000円
成果目標	・文化財の調査研究を行い、郷土の文化財を教材などに活用する。 ・地域の実情に合わせて、伝統行事の学習・学校の参加・協力を仰ぎ保存継承につとめる。
達成状況	達成度

●事業費概算(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費	1,446	1,446	1,446	4,338
財源見込	国・県支出金			
	一般財源	1,446	1,446	4,338
	その他			

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
――	

●総合戦略での事業の位置づけ

1. 安全で安心な時代にあったまちをつくる	⑤環境保全対策の推進
-----------------------	------------

基本目標Ⅲ	郷土愛あふれる教育のまち
5	歴史・文化・芸術の振興
歴史・文化・芸術に対する意識の醸成	

事業年度	⌵	29	30	31	⌶
------	---	----	----	----	---

事業名	歴史・文化・芸術活動の支援
所管	教育課

●事業の内容

目的	歴史・文化・芸術に触れ、それに関わる活動を行うことにより、町民の健康で文化的に豊かな生活を実現し、地域の暮らしに根付いた文化の創造発展に寄与することを目的とする。
事業の概要	歴史・文化・芸術に接する機会の提供として、各種教室・文化講演会・展示会等を開催する。そして各関係機関や関係団体と連携を図り、必要な支援を行う。
成果目標	<p>主要な年間行事(町民音楽祭、文化講演、町展・県美術家協会展串本展)の開催・維持し、参加団体(参加人数)を増やしていく。</p> <p>H28年度参加者数 音楽祭 500人 町展 1,600人 H29年度 県美展 293人</p>
達成状況	達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		1,744	994	1,744	4,482
財源見込	国・県支出金				
	一般財源	1,744	994	1,744	4,482
	その他				

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
――	

●総合戦略での事業の位置づけ

――	――
----	----



# 基本目標Ⅳ

## いきいきと活力あふれるまち

基本目標Ⅳ	1	農林水産業の活性化
	2	商業・産業の活性化
	3	観光振興による地域経済活性化
	4	U・Iターン串本暮らしの推進
	5	地域資源を活かした交流の推進
	6	若者の就職支援と後継者育成

### まち・ひと・しごと創生総合戦略上の主要対象項目

3. 串本町へ新しい人の流れをつくる	①U・Iターン串本暮らしの推進
	②若者の就職支援と後継者育成
	③地域資源を活かした交流の推進
4. 安定した雇用をつくる	①観光振興による地域経済活性化
	②農林水産業活性化
	③商業・産業の活性化



					基本目標Ⅳ	いきいきと活力あふれるまち
					1	農林水産業の活性化
事業年度	》	29	30	31	》	生産基盤・生産性の向上
事業名	遊休農地活用支援事業					
所管	産業課					

### ●事業の内容

目的	当町の農業は、大半が小規模農家によるものであり高齢化が進むとともに、後継者不足により耕作放棄地が増加している。このような農地の利用集積を進めるため、関係する農業団体であるJA紀南とJAみくまのとの協力連携を図りながら、耕作放棄地の解消に取り組んでいく。	
事業の概要	近年耕作者の高齢化により、遊休農地が増加傾向にあるため、地元で意欲を持って農業に取り組んでいる人たちが、利用権設定や購入により農地の利用集積を図ることを期待する。このためこの支援事業を利活用して遊休農地の解消を目指す。	
成果目標	毎年 1haの耕作放棄地の解消を目指す。	
達成状況		達成度

### ●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		1,237	1,237	1,237	3,711
財源見込	国・県支出金				
	一般財源	1,237	1,237	1,237	3,711
	その他				

### ●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
解消農地 0.49ha/年(H26) → 1.0ha/年(H31)	H29年12月

### ●総合戦略での事業の位置づけ

3. 串本町へ新しい人の流れをつくる	②若者の就職支援と後継者育成
4. 安定した雇用をつくる	②農林水産業活性化

基本目標Ⅳ	いきいきと活力あふれるまち
1	農林水産業の活性化
生産基盤・生産性の向上	

事業年度	⌋	29	30	31	⌋
------	---	----	----	----	---

事業名	稲村農道新設事業
所管	産業課

●事業の内容

目的	農業の担い手の減少や高齢化が進むなか、遊休農地及び耕作放棄地の増加を防止するため農業経営・生活基盤となる農道及び農業施設の整備を促進し、効率化による農業の担い手の確保と活性化を図る。	
事業の概要	有田稲村地区において、農業効率化を図るためH26年から施行している稲村農道の整備を継続する。	
成果目標	稲村農道の新設 5年以内	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		5,000	5,000	5,000	15,000
財源見込	国・県支出金	1,500	1,500	1,500	4,500
	一般財源				
	その他	3,500	3,500	3,500	10,500

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
稲村農道の新設(7年以内)	H29年12月

●総合戦略での事業の位置づけ

4. 安定した雇用をつくる	②農林水産業活性化
---------------	-----------

基本目標Ⅳ	いきいきと活力あふれるまち
1	農林水産業の活性化
生産基盤・生産性の向上	

事業年度	》	29	30	31	》
------	---	----	----	----	---

事業名	林道維持管理事業
所管	産業課

●事業の内容

目的	林道関係の適切な維持管理により森林施業の効率化を促進する。	
事業の概要	定期的な林道の巡回・林道の草刈・維持補修を実施する。	
成果目標	林道機能の維持管理を図り、森林整備による林業の活性化を推進する。	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		3,200	3,200	3,200	9,600
財源見込	国・県支出金				
	一般財源	3,200	3,200	3,200	9,600
	その他				

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
——	

●総合戦略での事業の位置づけ

1. 安全で安心な時代にあったまちをつくる	⑤環境保全対策の推進
4. 安定した雇用をつくる	②農林水産業活性化

基本目標Ⅳ	いきいきと活力あふれるまち
1	農林水産業の活性化
生産基盤・生産性の向上	

事業年度	⌵	29	30	31	⌶
------	---	----	----	----	---

事業名	種苗放流・磯根資源再生事業
所管	産業課

### ●事業の内容

目的	漁業従事者の高齢化やカツオ漁獲量の低迷などから、串本町の漁業の大きな流れとして、地先資源の充実を目指した取組にシフトしている。その中でイセエビやアワビ、トコブシ、有用海藻の増産を目指した各種施策をおこなう。	
事業の概要	①稚魚稚貝稚海老の放流を実施。同時に和歌山県水産試験場と追跡調査をおこない、事業の有効性を調査していく。 ②磯焼け対策として、磯清掃やスポアバック方式での藻場造成を地域の実情に沿って実施していく。 ③築いその設置	
成果目標	稚魚放流 15,000匹/年、イセエビ放流 39,000匹/年、稚貝放流 95,000匹/年	
達成状況		達成度

### ●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		12,400	12,400	12,400	37,200
財源見込	国・県支出金	2,700	2,700	2,700	8,100
	一般財源	900	900	900	2,700
	その他	8,800	8,800	8,800	26,400

### ●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
――	

### ●総合戦略での事業の位置づけ

1. 安全で安心な時代にあったまちをつくる	⑤環境保全対策の推進
4. 安定した雇用をつくる	②農林水産業活性化

基本目標Ⅳ	いきいきと活力あふれるまち
1	農林水産業の活性化
生産基盤・生産性の向上	

事業年度	⌋	29	30	31	⌋
------	---	----	----	----	---

事業名	漁港施設の維持管理推進事業
所管	産業課

●事業の内容

目的	水産業を営む上で、その活動拠点となる漁港について既に策定した機能保全計画等に基づき適正な維持管理を行い、安全で効率的な漁業活動を推進する。	
事業の概要	町管理漁港 21港のうち10漁港について機能保全計画を策定中であるが、これに基づき動鳴気漁港修繕事業を実施する。以後緊急性を検証しながら機能保全計画に基づく修繕を実施していく。	
成果目標	対象機能保全計画の策定 H29年度までに完了 動鳴気漁港機能保全事業(防波堤の修繕) H30年度完了	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費	31,000	58,500	33,000	122,500
財源見込	国・県支出金	26,500	15,000	57,000
	一般財源	15,500	8,200	28,200
	その他		23,800	13,500

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
――	

●総合戦略での事業の位置づけ

4. 安定した雇用をつくる	②農林水産業活性化
---------------	-----------

基本目標Ⅳ	いきいきと活力あふれるまち
1	農林水産業の活性化
生産基盤・生産性の向上	

事業年度	⌋	29	30	31	⌋
------	---	----	----	----	---

事業名	鳥獣害対策の強化事業
所管	産業課

### ●事業の内容

目的	町内全域において、鳥獣害による農作物被害が頻発している。このため、農作物の鳥獣害による被害を減少させることにより、農業生産意欲の向上と担い手の確保により遊休農地の増加を抑制することを目的とする。	
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業者による侵入防止柵の設置を支援する。</li> <li>・鳥獣被害対策実施隊を結成し、有害鳥獣捕獲等を支援し個体数を減少させる。</li> <li>・有害鳥獣捕獲従事者数を確保するため新規狩猟免許取得支援を実施する。</li> </ul>	
成果目標	串本町鳥獣被害防止計画に従い、有害鳥獣による農作物被害を現状値310.4万円/1.24haからH31年度には248万円/0.99haを目標とし対策を講じる。 侵入防止柵の設置支援については、毎年延長で3,000mの設置を目標とする。 3年以内に鳥獣被害対策実施隊を結成する。 有害鳥獣捕獲個体数 1,000頭/年間を目標とする。	
達成状況		達成度

### ●事業費概算(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費	16,143	16,143	16,143	48,429
財源見込	国・県支出金	9,530	9,530	28,590
	一般財源	5,313	5,313	15,939
	その他	1,300	1,300	3,900

### ●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
——	

### ●総合戦略での事業の位置づけ

4. 安定した雇用をつくる	②農林水産業活性化
---------------	-----------

基本目標Ⅳ	いきいきと活力あふれるまち
1	農林水産業の活性化
ブランド化・販売力強化促進	

事業年度	》	29	30	31	》
------	---	----	----	----	---

事業名	特産品・名産品のブランド化・販売力強化促進事業
所管	産業課

●事業の内容

目的	町内には誇れる産品が数多く存在するが、それらを掘り起こし県内外にPRすることで商品の付加価値向上を図り、販売力強化を目指す。	
事業の概要	農林水産の産品について、それぞれ農協、森林組合、漁協と連携をはかりブランド化を推進する。県のプレミアム和歌山や東京オリンピックを見越したエコラベルなどの登録をおこない、串本町の産品を町内外に発信する。	
成果目標	3分野それぞれでのブランド化品目の選定～ブランド化/5年	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		-	-	-	-
財源見込	国・県支出金				
	一般財源				
	その他				

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
新規3件以上(5年間累計)	

●総合戦略での事業の位置づけ

4. 安定した雇用をつくる	②農林水産業活性化
4. 安定した雇用をつくる	③商業・産業の活性化

基本目標Ⅳ	いきいきと活力あふれるまち
1	農林水産業の活性化
ブランド化・販売力強化促進	

事業年度	》	29	30	31	》
------	---	----	----	----	---

事業名	紀州材利用定住促進住宅等建設費補助金事業
所管	産業課

●事業の内容

目的	地元林産業者及び地元建築業者の活性化を促進するため、地域の産品である紀州材を利用して住宅を建築する住民や転入予定者に対して補助を行い定住を促進する。	
事業の概要	補助の対象者は、串本町の住民基本台帳に記載のある方、または串本町に転入予定若しくは居住地の移転予定の方で5年以上の在町を確約できる方。かつ、自ら居住するために紀州材の使用により、地元製材所及び地元建築業者により建築しようとする方 となっており、使用した材積に応じて補助を行う。	
成果目標	年間10棟の新築を計画。	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		6,800	6,800	6,800	20,400
財源見込	国・県支出金				
	一般財源	900	900	900	2,700
	その他	5,900	5,900	5,900	17,700

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
補助金利用件数 10件/年	

●総合戦略での事業の位置づけ

4. 安定した雇用をつくる	②農林水産業活性化
---------------	-----------

基本目標Ⅳ	いきいきと活力あふれるまち
1	農林水産業の活性化
ブランド化・販売力強化促進	

事業年度	》	29	30	31	》
------	---	----	----	----	---

事業名	浜の活力再生プラン推進事業
所管	産業課

●事業の内容

目的	地域の基幹産業である水産業を魅力ある産業とするため、後継者や新規就業者が安定して着業できるような効率的で安定した漁業経営を目指し、漁業者と共に策定した5ヶ年計画(浜の活力再生プラン)を、着実に遂行し漁家所得を10%向上させる。	
事業の概要	漁業収入の向上や漁業用コスト削減のための取組等毎年度におけるプランの進捗度や内容を漁業関係者と精査し、より具体的なプランを構築し、実施する。	
成果目標	漁家所得(H26平均所得2百万円)の10%向上(H31)	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		-	-	-	-
財源見込	国・県支出金				
	一般財源				
	その他				

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
漁家所得(H26平均所得2百万円) 10%向上(H31)	

●総合戦略での事業の位置づけ

4. 安定した雇用をつくる	②農林水産業活性化
---------------	-----------

基本目標Ⅳ	いきいきと活力あふれるまち
1	農林水産業の活性化
生産基盤・生産性の向上	

事業年度	⌵	29	30	31	⌶
------	---	----	----	----	---

事業名	6次産業化への支援事業
所管	産業課

●事業の内容

目的	1次2次産業中心である産業構造である当地域において、生産から製造加工～販売までを一手におこなう者を積極的に支援する。	
事業の概要	①農林水産分野における、新たな商品の開発。 ②6次産業事業者との情報共有化。(県内外のイベント情報や各種補助メニューの指南)	
成果目標	支援件数 3件	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費	-	-	-	-
財源見込	国・県支出金			
	一般財源			
	その他			

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
6次産業化支援件数 5件(5年間累計)	

●総合戦略での事業の位置づけ

4. 安定した雇用をつくる	②農林水産業活性化
---------------	-----------

基本目標Ⅳ	いきいきと活力あふれるまち
2	商業・産業の活性化
商工業活動の支援	

事業年度	⌵	29	30	31	⌶
------	---	----	----	----	---

事業名	小売店舗等消費拡大事業
所管	産業課

●事業の内容

目的	商店街の維持、活性化を目的とする。	
事業の概要	商工会に補助金をだし、1万円で購入すると1万1千円分のプレミアム券になるシステムとなっている。年2回発売し、6月発売分は使用期限が8月末日、10月発売分は12月末日と期間を限定している。	
成果目標	プレミアム券発行 2回実施/年	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費	6,000	6,000	6,000	18,000
財源見込	国・県 支出金			
	一般 財源			
	その他	6,000	6,000	6,000

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
プレミアム券発行 2回実施/年	

●総合戦略での事業の位置づけ

4. 安定した雇用をつくる	③商業・産業の活性化
---------------	------------

基本目標Ⅳ	いきいきと活力あふれるまち
2	商業・産業の活性化
商工業活動の支援	

事業年度	》	29	30	31	》
------	---	----	----	----	---

事業名	小規模利子補給事業
所管	産業課

●事業の内容

目的	町内小売業者の経営の安定と発展	
事業の概要	町内小企業者の経営の安定と発展のため、(株)日本政策金融公庫からの経営改善融資(マル経融資)を受けた場合において、当該融資にかかる利子の一部を補給する。	
成果目標	具体的な目標数値設定は困難であり、制度を利用する小企業者の経営改善を目標とする。毎年の利用実績を注視しつつ、(株)日本政策金融公庫からの経営改善融資(マル経融資)に対する需要が低くなった場合には、利子補給制度についても見直しを行う。	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費	1,700	1,700	1,700	5,100
財源見込	国・県支出金			
	一般財源	200	200	200
	その他	1,500	1,500	1,500
				4,500

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
—	

●総合戦略での事業の位置づけ

4. 安定した雇用をつくる	③商業・産業の活性化
---------------	------------

基本目標Ⅳ	いきいきと活力あふれるまち
2	商業・産業の活性化
商工業活動の支援	

事業年度	⌵	29	30	31	⌶
------	---	----	----	----	---

事業名	商工会等団体活動の支援
所管	産業課

●事業の内容

目的	商工会等への支援を通じ、町内中小規模事業者の発展と安定に貢献する。	
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模事業に対する経営改善普及事業等を行っている商工会を支援する。</li> <li>・串本産育成マグロを中心に地域ブランド化を図り、地元農水産物の需要拡大及び観光振興による地域経済活性化に寄与することを目的としているマグロ料理推進協議会を支援する。</li> </ul>	
成果目標	補助金の交付件数 年2件	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		10,450	10,450	10,450	31,350
財源見込	国・県支出金				
	一般財源	10,450	10,450	10,450	31,350
	その他				

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
――	

●総合戦略での事業の位置づけ

4. 安定した雇用をつくる	③商業・産業の活性化
---------------	------------

基本目標Ⅳ	いきいきと活力あふれるまち
2	商業・産業の活性化
新たな事業の創出支援	

事業年度	》	29	30	31	》
------	---	----	----	----	---

事業名	創業希望者・創業支援事業
所管	産業課

●事業の内容

目的	創業支援による、串本町産業の活性化・発展。	
事業の概要	経営・財務・人材育成・販路開拓の4つのセミナーを受講し、創業計画書等を商工会に提出。商工会をとおして、特定認定創業支援事業に係る証明書発行を当町に申請。証明書を受けることで、①法人を作る際の登録免許税の減免、②創業関連保証枠の拡大、③創業関連保証特約の拡大のメリットを享受でき、運営が有利となる。	
成果目標	H28年度までで特定認定創業支援事業に係る証明書発行を受けるため、複数名がセミナーを受講している。 毎年度、3名程度の申請を目標としたい。	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費	-	-	-	-
財源見込	国・県支出金			
	一般財源			
	その他			

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
――	

●総合戦略での事業の位置づけ

――	――
----	----

基本目標Ⅳ	いきいきと活力あふれるまち
2	商業・産業の活性化
新たな事業の創出支援	

事業年度	⌵	29	30	31	⌶
------	---	----	----	----	---

事業名	地場産業育成及び観光事業等推進資金補助金事業
所管	産業課

●事業の内容

目的	串本町の特性を活かし、活力ある観光の町づくりを推進する為、地場産業と観光事業等が協力して、観光客の増加に貢献する事業に費用を補助する地元産品の開発(発掘)、販売促進を図り、地場産業の活性化を目指す。	
事業の概要	串本町内の各団体(漁協、農協、商工会、観光協会、NPO等)が実施する事業で、地場産業と観光事業等が協力し、地域産業の振興を図る事業等に対し補助をおこなう。 事業費総額の80%、限度額200万円	
成果目標	地場産業と観光事業等が協力した、観光客増大につながる商品及び取組活動の創出。 (3件/累計)	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		2,000	2,000	2,000	6,000
財源見込	国・県支出金				
	一般財源	200	200	200	600
	その他	1,800	1,800	1,800	5,400

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
——	

●総合戦略での事業の位置づけ

4. 安定した雇用をつくる	③商業・産業の活性化
---------------	------------

基本目標Ⅳ	いきいきと活力あふれるまち
2	商業・産業の活性化
誘致活動による活性化	

事業年度	》	29	30	31	》
------	---	----	----	----	---

事業名	宿泊施設を中心とした観光産業の立地推進
所管	産業課

●事業の内容

目的	町内への観光産業の立地推進を図り、雇用の拡大や人口流出の防止につなげることにより、地域の活性化を目的とする。	
事業の概要	立地データやドローンによる空撮映像等の詳細な基礎情報を収集、整理して立地の条件を可視化し、和歌山県企業立地課をはじめ企業に提供することにより、宿泊施設を中心とした企業誘致、または本町の地域特性を活かした企業誘致を進めていく。	
成果目標	立地データ等の収集整理を行いつつ、宿泊施設の誘致を成功させる。	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費	-	-	-	-
財源見込	国・県支出金			
	一般財源			
	その他			

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
企業誘致 1件(H31迄に)	H29年12月

●総合戦略での事業の位置づけ

4. 安定した雇用をつくる	③商業・産業の活性化
---------------	------------

基本目標Ⅳ	いきいきと活力あふれるまち
2	商業・産業の活性化
誘致活動による活性化	

事業年度	⌋	29	30	31	⌋
------	---	----	----	----	---

事業名	水産関連企業の誘致推進
所管	産業課

●事業の内容

目的	水産業と共に発展してきた串本町。更なる水産業の発展を実現するため水産関連企業の誘致をおこない、強いては地域雇用の創出を図る。	
事業の概要	地域特性に応じた企業の誘致を、漁協ならびに既存企業と協議を行いながら推進する。	
成果目標	1件/5年間	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
財源見込	事業費	-	-	-	-
	国・県支出金				
	一般財源				
	その他				

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
――	

●総合戦略での事業の位置づけ

4. 安定した雇用をつくる	②農林水産業活性化
---------------	-----------

基本目標Ⅳ	いきいきと活力あふれるまち
3	観光振興による地域経済活性化
地域資源を活かした観光振興	

事業年度	》	29	30	31	》
------	---	----	----	----	---

事業名	国道42号を活用した地域活性化事業
所管	産業課・建設課

●事業の内容

目的	紀勢自動車道の南進により、町へのアクセスが向上する反面、既に開通した市町では、国道42号の交通量減少により地域経済への悪影響がでている。串本町においてこれらの事態を回避する為、事前に国道42号及びその周辺の観光資源を整備することで地域活性化につなげる。	
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国道42号線からの案内板設置</li> <li>・駐車スペースの整備</li> <li>・周辺公衆トイレの整備。42号線沿いの観光資源の情報発信の強化</li> <li>・サイクルステーション等の増設</li> </ul>	
成果目標	案内板 3基(期間) トイレ整備3か所(期間)	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
財源見込	事業費	30,220	-	-	30,220
	国・県支出金	15,110			15,110
	一般財源	15,110			15,110
	その他				

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
――	

●総合戦略での事業の位置づけ

4. 安定した雇用をつくる	①観光振興による地域経済活性化
---------------	-----------------

基本目標Ⅳ	いきいきと活力あふれるまち
3	観光振興による地域経済活性化
地域資源を生かした観光振興	

事業年度	》	29	30	31	》
------	---	----	----	----	---

事業名	古民家リノベーション事業(ニューツーリズム等の育成支援)
所管	産業課

●事業の内容

目的	これまで観光資源として認識されていなかった本町の固有の資源を新たに取り入れた観光振興策や旅行を開発するニューツーリズムの一環として、放置されている空き家や古民家を利用してまちなか観光や既存の体験型観光との組み合わせを提案、実施することにより、まちなかの商店街等の活性化を目的とする。
事業の概要	串本町に寄付された稲村亭を中心とした古民家・空き家再生事業を行い、宿泊施設や飲食施設を整備する。さらに既存の古民家カフェや体験型観光を実施している事業者と提携し、串本のまちなかを大きな観光施設として認識させる。
成果目標	H29に本事業を担う協議会を設立し、空き家等の使用に係る交渉を実施しつつ、全体的な計画を練る。H30には空き家・古民家の改修を行い、受け入れ態勢を整備し、H31に事業開始を目標とする。H31の目標は総宿泊者数200人。
達成状況	達成度

●事業費概算(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費	-	-	-	-
財源見込	国・県支出金			
	一般財源			
	その他			

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
――	

●総合戦略での事業の位置づけ

4. 安定した雇用をつくる	①観光振興による地域経済活性化
---------------	-----------------

基本目標Ⅳ	いきいきと活力あふれるまち
3	観光振興による地域経済活性化
地域資源を生かした観光振興	

事業年度	⋯	29	30	31	⋯
------	---	----	----	----	---

事業名	広域観光連携推進事業
所管	産業課

### ●事業の内容

目的	団体ツアー、ファミリー旅行の誘致促進。体験型観光商品を開発することで宿泊数の増加、町内滞在時間の増加を図り、観光客総入込数の増加を目的とする。
事業の概要	旅行会社への積極的営業・タイアップ。効果的なキャンペーンイベントへの参加。県との連携推進。 世界遺産登録、日本遺産登録、南紀熊野ジオパーク等の新たな観光資源を活用した観光振興策推進。 高速道路の延伸による関西圏からの観光客増加による日帰り観光者の増加。宿泊に繋がる体験型観光の活用 H29年 那智大社 1700年 H30年 西国三十三所 1300年 H31年 プレ五輪/ねんりんピック/世界遺産15周年/ラグビーWC
成果目標	H27年実績(県観光動態調査報告書より)約134万人(日帰り105万人、宿泊29万人)となっている。高速道路の延伸による関西圏からの日帰り観光者の増加がみられる反面、H28年度には町内の大型ホテルが1件廃業したことなどより減少した宿泊者数を回復させることを主たる目標とする。 観光客総数140万人を目標とする。
達成状況	達成度

### ●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		2,408	2,408	2,408	7,224
財源見込	国・県支出金				
	一般財源	2,408	2,408	2,408	7,224
	その他				

### ●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
総観光客数 140万人/年(H31迄に)	H29年12月

### ●総合戦略での事業の位置づけ

4. 安定した雇用をつくる	①観光振興による地域経済活性化
---------------	-----------------

基本目標Ⅳ	いきいきと活力あふれるまち
基本目標Ⅴ	自然と共生やさしいまち
3	観光振興による地域経済活性化
2	環境保全対策の推進
地域資源を活かした観光振興／環境保全活動の推進	

事業年度	②	②9	③0	③1	③
------	---	----	----	----	---

事業名	世界遺産・日本遺産・南紀熊野ジオパークと連携した観光推進
所管	産業課

### ●事業の内容

目的	当町にある、恵まれた観光資源を最大限活用して、観光客の増大を図るとともに、本町の貴重な地質及び地形とそれに由来する自然環境の保全を図る。
事業の概要	<p>世界遺産・日本遺産・南紀熊野ジオパーク等を最大限活用することで、旅行会社、交通事業者、旅行メディアと町、観光協会が協力し、ジオツアーの立案や商品化等を進める。それぞれの観光資源について接点があり、単体ではなく連携した活用が可能である。</p> <p>○南紀熊野ジオパーク：世界ジオパークをめざし、H29年度より当町潮岬にてジオセンター建設が着工し、H30年には完成予定である。</p> <p>○世界遺産：H28年10月の追加登録にて当町も世界遺産を保有することとなった。H28年度では、県の事業にて誘導板が整備された。また、1/2補助金(県)にて案内板を設置した。</p> <p>○日本遺産：H28年4月に当町では4カ所が認定され、各認定地には解説板・誘導板が設置された。。認定基準の中に「国指定の文化財」が必要との事で、河内祭がそれにあたる。H29年度では、当町の構成文化財が4つ追加登録され、河内祭のジオラマが作成される。</p> <p>・和歌山県世界遺産大辺路地域協議会 300千円          ・熊野灘捕鯨文化継承協議会 150千円          ・南紀熊野ジオパーク推進協議会 648千円</p>
成果目標	南紀熊野ジオパーク：新たなジオツアーを開発。3件(累計) 各観光資源を生かしたツアー・ルートの開発。大筋にジオ・世界遺産・日本遺産を決め、それぞれを組み込んだルートとする。各観光資源に2件程度。
達成状況	達成度

### ●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		1,098	1,098	1,098	3,294
財源見込	国・県支出金				
	一般財源	1,098	1,098	1,098	3,294
	その他				

### ●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
総観光客数 140万人／年(H31迄に)	H29年12月
ジオツアーの立案 12件(5年間累計)	H29年12月

### ●総合戦略での事業の位置づけ

1. 安全で安心な時代にあつたまちをつくる	⑤環境保全対策の推進
4. 安定した雇用をつくる	①観光振興による地域経済活性化

基本目標Ⅳ	いきいきと活力あふれるまち
3	観光振興による地域経済活性化
新たな魅力の発信	

事業年度	》	29	30	31	》
------	---	----	----	----	---

事業名	道の駅「くしもと橋杭岩」管理事業
所管	産業課

●事業の内容

目的	串本町の顔となっている国の名勝・天然記念物に指定されている橋杭岩に設置されている道の駅「くしもと橋杭岩」。観光客の立ち寄り場所としては、串本町のメインともなりつつある場所であり、インバウンド観光客も含め、利用満足度を一層高めることを目的とする。
事業の概要	紀勢道の延伸により、マイカー利用者や、大型バス客が増大しており、串本町にとって追い風の時期が続いている。今後更なる紀勢道の延伸が決定しており、観光客をはじめ、来町者はさらに増える見込みである。そんな中、道の駅では串本の情報発信の中心的な位置づけとなることが求められる。  串本町の観光案内整備、地元産品の販売促進、多言語化対応などを進めることにより、さらなる串本町の魅力の底上げを図る。
成果目標	道の駅利用客数 年間103千人。売上130百万円。(H28比110%、H26比140%)(H31年まで)
達成状況	達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		991	1,000	1,000	2,991
財源見込	国・県支出金				
	一般財源	991	1,000	1,000	2,991
	その他				

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
道の駅利用客数 10.3万人／年(H31迄に)	H29年12月

●総合戦略での事業の位置づけ

4. 安定した雇用をつくる	①観光振興による地域経済活性化
4. 安定した雇用をつくる	③商業・産業の活性化

基本目標Ⅳ	いきいきと活力あふれるまち
3	観光振興による地域経済活性化
新たな魅力の発信	

事業年度	⌵	29	30	31	⌶
------	---	----	----	----	---

事業名	インバウンド観光事業
所管	産業課

●事業の内容

目的	観光地における、海外からの観光客が観光しやすいような施設整備を実施していく。	
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・熊野古道の世界遺産認定などの影響から、海外からの観光客が増加傾向にある。彼らの町内での満足度を高め、滞在期間を伸ばしてもらえよう、串本町の観光案内整備、地元製品の販売促進、体験型観光商品の開発、多言語化対応などを進めることにより、さらなる串本町の魅力の底上げを図る。</li> <li>・インバウンド観光客向けに、町内の観光地・公共施設にインターネットサービスを利用した情報収集が行えるように公共Wi-Fiを整備していく。</li> </ul>	
成果目標	公共Wi-Fi設置数 3年間累計 3カ所	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費	-	123	246	369
財源見込	国・県支出金	61	123	184
	一般財源	62	123	185
	その他			

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
観光地、公共施設等へのWi-Fi整備 7カ所(5年間累計)	H29年12月

●総合戦略での事業の位置づけ

4. 安定した雇用をつくる	①観光振興による地域経済活性化
---------------	-----------------

基本目標Ⅳ	いきいきと活力あふれるまち
3	観光振興による地域経済活性化
新たな魅力の発信	

事業年度	⌵	29	30	31	⌶
------	---	----	----	----	---

事業名	ユニバーサルツーリズムの促進事業
所管	産業課

●事業の内容

目的	観光地における、高齢者や障害の有無にかかわらず全ての人が観光しやすいような施設整備を実施していく。	
事業の概要	町内の観光地等において、 ・施設管理者と協力してバリアフリー化を進める ・高齢者や障害者など、旅行をするうえで不安を抱える方たちが最も必要とする、観光地におけるバリアの情報、及びその対応策が整えられているかなどの情報を提供できるようにしていく。	
成果目標	バリアフリー化の実施、またはバリア情報及びその対策情報等のSNSでの情報発信、HPや観光パンフレットへの掲載数 2件/年	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費	-	-	-	-
財源見込	国・県支出金			
	一般財源			
	その他			

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
――	

●総合戦略での事業の位置づけ

4. 安定した雇用をつくる	①観光振興による地域経済活性化
---------------	-----------------

					基本目標Ⅳ	いきいきと活力あふれるまち
					4	UIターン串本暮らしの推進
事業年度	》	29	30	31	》	移住定住事業の強化／情報発信交流の強化
事業名	移住交流促進事業					
所管	産業課					

### ●事業の内容

目的	人口が減少する中、地域に溶け込み地域の担い手となる方を串本町に定住させるべく、移住・交流推進協議会を中心として移住・交流活動を促進する。	
事業の概要	移住希望者の相談業務や和歌山県等が開催するセミナー・現地体験会等でのPRを行う。空き家利活用の推進事業と連携し、移住による地域の活性化を図る。串本町の資源を活用した体験活動の拡充を図り関係機関・団体等と協力・連携しながら支援する。HPの充実により、移住・定住施策や先輩移住者の体験談等の様々な情報を掲載し魅力的な移住情報を発信する。	
成果目標	移住・就職セミナー等への参加 2回／年 現地体験会の開催 1回／年 新規就業支援 12件／3年間	
達成状況		達成度

### ●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		320	320	320	960
財源見込	国・県支出金	150	150	150	450
	一般財源	170	170	170	510
	その他				

### ●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
短期滞在住宅の利用 15件／年	H29年12月
移住・就職セミナー 10回(5年間累計)	
現地体験会参加 4回(5年間累計)	H29年12月

### ●総合戦略での事業の位置づけ

3. 串本町へ新しい人の流れをつくる	①U・Iターン串本暮らしの推進
3. 串本町へ新しい人の流れをつくる	②若者の就職支援と後継者育成
4. 安定した雇用をつくる	②農林水産業活性化

					基本目標Ⅳ	いきいきと活力あふれるまち
					5	地域資源を活かした交流の推進
事業年度	》	29	30	31	》	交流活動の推進
事業名	教育旅行推進事業					
所管	産業課					

### ●事業の内容

目的	教育旅行の誘致推進により、学生の団体を定期的・長期的に確保する。 学生旅行(教育旅行・合宿)は、一般観光の閑散期にあたり、さらに平日に行われるため、平日の宿泊客数の増加を目的とする。	
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H19年より取り組んでいる体験型観光推進事業は、いまだ受け入れ態勢が未完成であり、核となる串本町教育旅行誘致協議会の体制強化が急務であるため、観光協会との統合を視野に入れ独自で事業を進めることが出来るようにしていく。また、年々変化する修学旅行事業の調査研究を行う。</li> <li>・営業については、和歌山県主催の県外セールスに加えて、町・串本町教育旅行誘致協議会単独での営業活動を行う。例えば、同地域内で来町校がある場合は、その地域を重点的に営業するなど効率的な取り組みを行っていく。</li> <li>・合宿については、大学生の長期の休みを使ったプランの作成。個別に生協・大学学生課へのセールスを行う。特に夏場に関しては、ホテル・国民宿舎を活用した海水浴プランの作成・営業を行い、冬場は卒業旅行の提案を行っていく。</li> </ul> 誘致協議会への補助金 700万円 スクールキャラバン等の旅費 65万円	
成果目標	教育旅行については、年間20校、総宿泊3,000泊を目標とする。 合宿については、年間20件、総宿泊2,000泊を目標とする。	
達成状況		達成度

### ●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		7,650	7,650	7,650	22,950
財源見込	国・県支出金				
	一般財源	7,650	7,650	7,650	22,950
	その他				

### ●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
20校(総宿泊3,000泊)／年(H31迄に)	H29年12月

### ●総合戦略での事業の位置づけ

3. 串本町へ新しい人の流れをつくる	③地域資源を活かした交流の推進
4. 安定した雇用をつくる	①観光振興による地域経済活性化

基本目標Ⅳ	いきいきと活力あふれるまち
5	地域資源を活かした交流の推進
交流活動の推進	

事業年度	》	29	30	31	》
------	---	----	----	----	---

事業名	体験型観光客誘致事業
所管	産業課

### ●事業の内容

目的	単なるこれまでの周遊型観光とは異なる、串本町の観光資源を体験することを目的とした観光客に焦点を絞った誘致活動をおこなう。	
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな体験型観光メニューの開発支援。</li> <li>・各種ガイドツアー・カヌー体験・フィッシングカヤック・SUP・橋杭岩シーカヤックツアーなど、各種の体験型観光のマスコミ周知、旅行業者との企画ツアー開発をすすめる。</li> </ul>	
成果目標	体験型観光客数 5,000人／年	
達成状況		達成度

### ●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		3,203	-	-	3,203
財源見込	国・県支出金				
	一般財源	3,203			3,203
	その他				

### ●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
体験型観光客数 5,000人／年	

### ●総合戦略での事業の位置づけ

3. 串本町へ新しい人の流れをつくる	③地域資源を活かした交流の推進
4. 安定した雇用をつくる	①観光振興による地域経済活性化

基本目標Ⅳ	いきいきと活力あふれるまち
5	地域資源を活かした交流の推進
交流活動の推進	

事業年度	》	29	30	31	》
------	---	----	----	----	---

事業名	スポーツ合宿誘致
所管	教育課・産業課

### ●事業の内容

目的	県外のチームの誘致を推進し、総合運動公園をはじめとした町有施設の効率的な運用を図ることにより、宿泊施設や飲食店などへの経済波及効果を高め、地域活性化へ繋げることを目的とする。また同時に、町の観光資源をPRし、地元のスポーツ振興に繋げていくことも目的とする。	
事業の概要	従来までのつきあいのあるチーム、団体などに引き続き利用いただけるようPRを図っていく。また、H29年度より「南紀エリアスポーツ合宿誘致推進協議会」に加入しており、田辺市や上富田町を含めた近隣市町村とも連携し、協議会の補助制度やコーディネーターを上手く活用しながら成果を高めていく。	
成果目標	合宿件数 20件（総宿泊2,000泊）／年	
達成状況		達成度

### ●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		820	820	820	2,460
財源見込	国・県支出金				
	一般財源	820	820	820	2,460
	その他				

### ●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
合宿件数 20件（総宿泊2,000泊）／年	

### ●総合戦略での事業の位置づけ

3. 串本町へ新しい人の流れをつくる	③地域資源を活かした交流の推進
4. 安定した雇用をつくる	①観光振興による地域経済活性化

基本目標Ⅳ	いきいきと活力あふれるまち
6	若者の就職支援と後継者育成
次世代後継者育成	

事業年度	⌵	29	30	31	⌶
------	---	----	----	----	---

事業名	農業・林業・漁業働き手の確保支援
所管	産業課

### ●事業の内容

目的	UIJターン希望者や移住者に対する就職支援・就業支援を積極的に行うとともに、当町の伝統的な産業を守るための支援を進め、高齢化する産業の担い手の後継者を育てる取組を推進する。
事業の概要	伝統産業である漁業・農林業・観光業等あるゆる産業で高齢化が進み、後継者が不足している状況の中、UIJターン希望者等への職業体験・生活体験や学生向け職業体験の拡充に努め、後継者育成を推進する。
成果目標	新規就業支援 20件／5年間 短期滞在型住宅利用件数 15件／年
達成状況	達成度

### ●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		412	412	412	1,236
財源見込	国・県支出金				
	一般財源	412	412	412	1,236
	その他				

### ●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
新規就業支援 20件／5年間累計	
短期滞在住宅の利用 15件／年	H29年12月

### ●総合戦略での事業の位置づけ

3. 串本町へ新しい人の流れをつくる	②若者の就職支援と後継者育成
4. 安定した雇用をつくる	②農林水産業活性化



# 基本目標 V

## 自然と共生やさしいまち

基本目標 V	1	循環型社会の形成促進
	2	環境保全対策の推進

### まち・ひと・しごと創生総合戦略上の主要対象項目

1. 安全で安心な時代に合ったまちをつくる	⑤環境保全対策の推進
-----------------------	------------



					基本目標Ⅴ	自然と共生やさしいまち
					1	循環型社会の形成促進
事業年度	⌋	29	30	31	⌋	自然環境に配慮した施設計画
事業名	特定環境保全公共下水道事業					
所管	建設課					

●事業の内容

目的	H6年10月の供用開始から20年以上経過し、施設更新を初めとした対応が必要な時期が来ている。29年度に効率的な汚水処理整備計画策定を行い、計画の見直しや施設を調査し、今後も安定した汚水処理サービスを提供していく。	
事業の概要	大水崎処理区域の効率的な汚水処理整備計画策定 (計画内容) ・全体計画の見直し ・下水道法の事業計画の変更 ・都市計画法の認可の変更	
成果目標	今回の整備計画策定を基に、施設管理についての計画を立て、健全な下水道事業を行っていく。	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		8,000	-	-	8,000
財源見込	国・県支出金	4,000			4,000
	一般財源	4,000			4,000
	その他				

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
――	

●総合戦略での事業の位置づけ

――	――
----	----

					基本目標Ⅴ	自然と共生やさしいまち
					1	循環型社会の形成促進
事業年度	⌋	29	30	31	⌋	循環型社会の促進
事業名	浄化槽設置整備補助事業					
所管	住民課					

●事業の内容

目的	合併処理浄化槽の計画的な整備を図り、し尿と雑排水を併せて処理することにより、公共用水域の水質汚濁を防止し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。	
事業の概要	合併処理浄化槽の設置又は改築を行う者に対し、その費用の一部を助成する。 (補助金額) 5人槽:332,000円 6~7人槽:414,000円 8~50人槽:548,000円 H28年度からは、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を促すため、単独処理浄化槽の撤去に係る費用についても、上限90,000円の上乗せ助成を行っている。 (補助対象者) 専ら自らの居住の用に供する建物又は延べ床面積のおおむね2分の1以上を自らの居住の用に供する建物に、処理能力人数が50人以下の浄化槽を設置しようとする者	
成果目標	H27年度実績 63基 事業費21,326千円 H28年度実績 58基 事業費20,504千円  紀南広域地域計画において、H28年度から32年度の5年間で第2期計画として、合計390基、事業費139,270千円を予定している。 単年度では、それぞれ78基、27,854千円の事業費となっている。	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		27,854	27,854	27,854	83,562
財源見込	国・県支出金	18,568	18,568	18,568	55,704
	一般財源	9,286	9,286	9,286	27,858
	その他				

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
汚水処理人口普及率 34.2%(H26) → 39.1%(H31)	

●総合戦略での事業の位置づけ

1. 安全で安心な時代に合ったまちをつくる	⑤環境保全対策の推進
-----------------------	------------

基本目標V	自然と共生やさしいまち
1	循環型社会の形成促進
循環型社会の推進	

事業年度	⌵	29	30	31	⌵
------	---	----	----	----	---

事業名	再生可能エネルギーの調査・研究
所管	企画課

●事業の内容

目的	現在、わが国の主要なエネルギー源である石油・石炭などの化石燃料は限りがあるエネルギー資源である。加えて、化石燃料の利用に伴って発生する温室効果ガスを削減することが重要な課題となっている。このような状況の中、エネルギーを安定的かつ適切に供給するためには、環境への負荷が少ない再生可能エネルギーの導入について検討し、地域の特性を活かしたエネルギーの選定や地域への波及効果を高めることを目的とする。
事業の概要	黒潮などの地域特性を活かした海洋再生可能エネルギーの利用促進に努め、国の実証フィールドに選定され、発電メーカーが潮岬沖での実証実験実施を決定した際に、地元関係者との調整が円滑に行われるよう県とともに取り組んでいく。
成果目標	地元関係者を対象に事業内容への理解促進や気運醸成、情報・課題の共有を図る。
達成状況	達成度

●事業費概算(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費	-	-	-	-
財源見込	国・県支出金			
	一般財源			
	その他			

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
――	

●総合戦略での事業の位置づけ

1. 安全で安心な時代に合ったまちをつくる	⑤環境保全対策の推進
-----------------------	------------

基本目標Ⅴ	自然と共生やさしいまち
2	環境保全対策の推進
環境保全活動の推進	

事業年度	》	29	30	31	》
------	---	----	----	----	---

事業名	熊野参詣道大辺路管理事業
所管	教育課

●事業の内容

目的	世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」及び国の史跡に追加登録された大辺路について、来場された人々が安心・安全に通れるよう整備保全する。	
事業の概要	追加登録された大辺路の軽微な修繕、及び道路のパトロールについて委託する。 H29年度 世界遺産大辺路管理委託業務 442,000円	
成果目標	他の関係機関と連携し、大切な自然である熊野古道大辺路を活用し串本町をアピールする。 串本町の熊野古道大辺路を活用した事業参加者 200人／年	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		442	442	442	1,326
財源見込	国・県支出金				
	一般財源	442	442	442	1,326
	その他				

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
――	

●総合戦略での事業の位置づけ

1. 安全で安心な時代にあったまちをつくる	⑤環境保全対策の推進
-----------------------	------------

					基本目標Ⅴ	自然と共生やさしいまち
					2	環境保全対策の推進
事業年度	》	29	30	31	》	景観の保全促進
事業名	観光資源の保護活動					
所管	産業課					

●事業の内容

目的	串本町内において、観光資源の保護活動を実施し、本町の観光資源を次世代に遺していく。	
事業の概要	沿岸海域の保全活動、熊野古道大辺路の保全活動、潮岬望楼の芝の維持管理、重畳山園地公園の維持管理などの観光資源保護活動に対し、協力、支援をおこなう。 ・ラムサール海域自然保護活動事業委託料 360千円 ・潮岬望楼の芝管理運営委員会補助金 1,800千円 ・重畳山スポーツ公園植樹会場跡管理業務 180千円	
成果目標	保護活動支援数 5件／年	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		2,340	2,340	2,340	7,020
財源見込	国・県支出金				
	一般財源	2,340	2,340	2,340	7,020
	その他				

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
サンゴ食害生物の駆除活動 2,500個体／年	H29年12月

●総合戦略での事業の位置づけ

1. 安全で安心な時代にあったまちをつくる	⑤環境保全対策の推進
4. 安定した雇用をつくる	①観光振興による地域経済活性化

基本目標V	自然と共生やさしいまち
2	環境保全対策の推進
景観の保全促進	

事業年度	》	29	30	31	》
------	---	----	----	----	---

事業名	都市公園・緑地の整備促進事業
所管	教育課

●事業の内容

目的	串本町総合運動公園の環境整備を継続して行い、来場された人々が安心・安全また気持ちよく利用してもらって、串本町に来町して良かったと思われるように整備を促進する。	
事業の概要	運動公園周辺の美化活動、施設の整備を充実する。	
成果目標	運動公園利用者に気持ち良く利用してもらおう。また、利用者増加に繋げていく。 テニスやサッカー、野球を中心として天然芝のグラウンドは貴重な施設であり、利用者には満足されている。余暇を楽しく過ごせる場の提供と合宿誘致により串本町の活性化を図り、施設利用者数を増やす。 H28年度実績 野球場6,000人 多目的G8,000人 雨天練習場11,000人 テニスコート3,000人	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		4,741	4,741	4,741	14,223
財源見込	国・県支出金				
	一般財源	4,741	4,741	4,741	14,223
	その他				

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
――	

●総合戦略での事業の位置づけ

1. 安全で安心な時代にあったまちをつくる	⑤環境保全対策の推進
-----------------------	------------

					基本目標Ⅴ	自然と共生やさしいまち
					2	環境保全対策の推進
事業年度	⌵	29	30	31	⌶	環境美化意識の推進
事業名	不法投棄防止に係る事業					
所管	住民課					

●事業の内容

目的	町民が一体となっておみの散乱等の防止を努めるとともに、地域の環境美化の促進を図り、環境に対する意識の向上と美しい町づくりに寄与することを目的とする。	
事業の概要	自然環境に恵まれた素晴らしいふるさとを散乱ごみから守るには、町民一人ひとりの環境美化に対する意識の高揚が不可欠であるとの見地から、一斉清掃活動による実践を通じ、また啓発事業を積極的に展開することにより、町民への周知徹底を図る。	
成果目標	一斉清掃活動 2回実施/年 不法投棄巡回パトロール 広報・チラシによる啓発活動	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		500	500	500	1,500
財源見込	国・県支出金				
	一般財源	500	500	500	1,500
	その他				

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
一斉清掃活動実施 2回/年	

●総合戦略での事業の位置づけ

1. 安全で安心な時代に合ったまちをつくる	⑤環境保全対策の推進
-----------------------	------------



# 基本目標Ⅵ

## 手を取りあい共に歩むまち

基本目標Ⅵ	1	町民協働のまちづくり推進
	2	人権尊重・男女共同参画社会の形成
	3	時代に合った効率的な行政運営



基本目標VI	手をとりあい共に歩むまち
1	町民協働のまちづくり推進
情報発信・情報交換活動の推進	

事業年度	》	29	30	31	》
------	---	----	----	----	---

事業名	広報広聴事業
所管	企画課

●事業の内容

目的	町行政を町民に正しく理解してもらうことは行政の円滑な運営に当たって非常に重要であり、従来から実施している広報紙の配布、あるいは町民の意見を行政に反映させる方法について、なお一層の配慮、工夫を入れて精進し、住民参加型の行政運営を進める。	
事業の概要	毎月の広報くしもとを作成し、町の取り組みや各種団体からのお知らせなど町民にとって関心が高く、必要な情報を掲載する。 ホームページの定期的な更新を行う。	
成果目標	町民に親しまれる広報紙作りを目指し、町民にとって関心の高い情報を掲載する一方、町民が登場する機会を増やすなど、住民参加型の紙面づくりを推進する。また広報紙への有料広告掲載について、毎月5件以上の掲載数を確保し、年間を通じて安定した歳入額を得られるようにする。 ホームページの更新について、各課から幅広く情報を収集し、掲載内容の充実を図る。また、利用者にとってわかりやすい情報掲載になるよう工夫し、活用しやすいページ作りに努める。	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		3,658	3,658	3,658	10,974
財源見込	国・県支出金				
	一般財源	3,418	3,418	3,418	10,254
	その他	240	240	240	720

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
――	

●総合戦略での事業の位置づけ

――	――
----	----

基本目標VI	手をとりあい共に歩むまち
1	町民協働のまちづくり推進
まちづくり支援	

事業年度	⌵	29	30	31	⌶
------	---	----	----	----	---

事業名	まちづくり応援事業
所管	企画課

●事業の内容

目的	串本町の地域性や独創性によるふるさとづくりへの取組を活性化するため、町内各団体又はグループが計画する個性的で地域をアピールするイベント等を支援していくとともに、新たな団体の育成に努める。
事業の概要	町内の各団体によるまちづくり活動を活性化するため、各事業に対し、最低10万円、最高30万円の補助金を交付する。必要に応じて、事業に関係する各課への連絡や施設の貸し出し等の案内を行う。
成果目標	年度内で補助金交付団体を4団体を目標とする。当補助制度を広報、ホームページ等で周知し、申請団体の増加を目指す。
達成状況	達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		1,200	1,200	1,200	3,600
財源見込	国・県支出金				
	一般財源	1,200	1,200	1,200	3,600
	その他				

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
――	

●総合戦略での事業の位置づけ

――	――
----	----

基本目標VI	手をとりあい共に歩むまち
1	町民協働のまちづくり推進
町づくり意識の高揚	

事業年度	》	29	30	31	》
------	---	----	----	----	---

事業名	各種まつり・イベント等の開催支援
所管	産業課

### ●事業の内容

目的	町づくりへの一体感・意識の醸成や住民間のコミュニケーションの活性化を図るために、各種文化行事・イベント・祭等を実施していく。	
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河内祭のタベ実行委員会への支援(1,350千円)</li> <li>・橋杭ビーチサマーサマーフェスティバルへ(串本町観光協会)の支援(7,600千円)</li> <li>・串本まつりの開催(2,600千円)</li> <li>・古座観光協会(500千円)</li> <li>・JBTKビルフィッシュトーナメント(4,783千円)</li> <li>・アウトドアフェスティバル(400千円)</li> <li>・紀の国トレイナート(200千円)</li> </ul>	
成果目標	町民の各種イベントへの参加・協働を支援することで、町づくり意識を高めることを推進していく。	
達成状況		達成度

### ●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		18,591	18,308	18,308	55,207
財源見込	国・県支出金				
	一般財源	13,808	13,808	13,808	41,424
	その他	4,783	4,500	4,500	13,783

### ●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
総観光客数 140万人/年(H31迄に)	H29年12月

### ●総合戦略での事業の位置づけ

3. 串本町へ新しい人の流れをつくる	③商業・産業の活性化
4. 安定した雇用をつくる	①観光振興による地域経済活性化

基本目標VI	手をとりあい共に歩むまち
2	人権尊重・男女共同参画社会の形成
男女共同参画への意識の醸成	

事業年度	»	29	30	31	»
------	---	----	----	----	---

事業名	男女共同参画基本計画策定事業
所管	企画課

●事業の内容

目的	男女共同参画社会基本法に基づき、男女がそれぞれの意思を持って社会の対等な構成員となり、各分野において共に充実した生活を送ることができる社会を目指すことを目的に、その実現に向けて女性活躍推進法にかかる計画を組み入れ、一体のものとして男女共同参画基本計画を策定する。
事業の概要	H30年度に計画を策定し、女性活躍推進法による女性の社会進出を踏まえ、家庭生活と社会の生活の充実に向けて、結婚を前向きにとらえるための啓発活動を実施する。
成果目標	男女共同参画基本計画を策定する。 H29年度～30年度 策定に向けた準備(啓発などの講演会、アドバイザー派遣等) H30年度 住民向けアンケート等の実施及び計画策定
達成状況	達成度

●事業費概算(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費	-	3,000	-	3,000
財源見込	国・県支出金			
	一般財源	3,000		3,000
	その他			

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
——	

●総合戦略での事業の位置づけ

2. 若い世代に優しいまちをつくる	②出産・子育て・教育支援
-------------------	--------------

基本目標VI	手をとりあい共に歩むまち
2	人権尊重・男女共同参画社会の形成
人権教育・啓発活動の推進	

事業年度	⌵	29	30	31	⌶
------	---	----	----	----	---

事業名	平和学習推進事業
所管	教育課

●事業の内容

目的	終戦から半世紀以上が経過した現在、戦争を知らない世代が増加し、悲惨な歴史が忘れられ風化してしまわぬよう、次世代(次代)に引き継ぎ、語り継ぎ、平和について正しい理解と認識を深めることを目的とする。	
事業の概要	戦争による、唯一の被爆国としてその歴史を語り継ぐ。広島・長崎に投下された原爆の悲惨な歴史資料収集に努める。子ども会活動・共育コミュニティ活動等のカリキュラムに取り入れた学習会を実施する。 H29年度は第五福竜丸建造70周年を迎えるに当たり第五福竜丸が当町古座地区で建造された史実の再認識、平和な世の中を尊ぶことを学習できる記念展を実施する。	
成果目標	・第五福竜丸建造70周年記念行事の実施 参加者200人以上【H29年度】 ・戦争史跡標柱の新規設置、修繕 3箇所程度【H29～H31】	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		636	186	186	1,008
財源見込	国・県支出金				
	一般財源	636	186	186	1,008
	その他				

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
――	

●総合戦略での事業の位置づけ

――	――
----	----

基本目標VI	手をとりあい共に歩むまち
2	人権尊重・男女共同参画社会の形成
人権教育・啓発活動の推進	

事業年度	》	29	30	31	》
------	---	----	----	----	---

事業名	保護者学級開設事業
所管	教育課

●事業の内容

目的	小学校に在籍する児童の保護者を対象として、同和問題、女性・子ども・高齢者・障害者などの人権に関わる問題についての学習を年間6時間程度実施し、様々な人権問題に対する理解と認識を深め、自らの課題として、その解決に向けた自覚を深めていくことを目的とする。
事業の概要	各小学校において、年度当初に計画を立てたうえで、育友会総会や学級懇談会等の場において、人権教育の取り組み方針の共通理解・認識を深める。 これ以外、保護者や地域の人を対象として、近年、大きな社会問題となっているネット環境・情報モラルに関して、相手の人権を尊重するコミュニケーションのあり方、また、防災・減災教育のなかで、避難訓練の重要性等を学び、避難生活のなかでの人権問題について学習し、周囲の人との関わり、助け合いの気持ちを育む場とする。
成果目標	多くの保護者が参加し、多種多様化する人権問題に対する理解と認識を深め、自らの課題として、その解決に向けた自覚を深めていくことを目指す。 H28年度保護者参加実績(709名)と同等以上を維持する。
達成状況	達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		270	270	270	810
財源見込	国・県支出金	135	135	135	405
	一般財源	135	135	135	405
	その他				

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
_____	

●総合戦略での事業の位置づけ

_____	_____
-------	-------

基本目標VI	手をとりあい共に歩むまち
2	人権尊重・男女共同参画社会の形成
人権教育・啓発活動の推進	

事業年度	》	29	30	31	》
------	---	----	----	----	---

事業名	人権啓発新聞「わがらのまち」発行事業
所管	教育課

●事業の内容

目的	人権啓発新聞「わがらのまち」を発行し、人権問題に対する理解と認識を深めるための啓発を目的とする。	
事業の概要	人権啓発文書および児童・生徒の人権作文により、現在の多種多様化する人権問題に対する理解・認識を深めるとともに、子どもの視点による身近な人権問題に対し、より自身の課題として、その解決に向けた自覚を促す。	
成果目標	年1回(年度末)、大人の人権啓発文書(3作)および町内小・中学校の児童・生徒による人権作文(14作)を掲載した啓発新聞を作成し、町内に全戸配布。	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		321	321	321	963
財源見込	国・県支出金	100	100	100	300
	一般財源	221	221	221	663
	その他				

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
――	

●総合戦略での事業の位置づけ

――	――
----	----

基本目標VI	手をとりあい共に歩むまち
3	時代に合った効率的な行政運営
健全な財政運営	

事業年度	》	29	30	31	》
------	---	----	----	----	---

事業名	安定財源確保への取組み事業(町税・使用料等)
所管	税務課

●事業の内容

目的	当町は、歳入の4分の3を依存財源に頼っている状況である。残り4分の1の大半を占める町税・使用料等の自主財源は、経済状況の変化や人口減少等に伴う町民の生活状況の変化により徴収率に大きく影響される。しかし、地方自治体の財源である町税・使用料等の確保は、最優先に取り組まなければならない。
事業の概要	安定した町税・使用料等の確保を図るために、口座振替・コンビニ収納の推進を図る。 納税指導に応じない者については、預金・給与・不動産等の資産調査を行い、差押え等の滞納処分を行う。また、悪質滞納者については、和歌山県紀南県税事務所・和歌山地方税回収機構と連携を図り滞納処分を行っていく。 住宅使用料の滞納者については、督促状・催告状の発送を行い、滞納者宅を訪問し生活実態の把握に努め、納付指導を行う。悪質滞納者については、民事調停を行い、住宅からの退去も含めた取組みを進める。
成果目標	1. 町税の徴収率 県平均に向けて取り組む ※H28年度県平均96.3% 当町92.1% 2. 住宅使用料の徴収率 現年度分97% 滞納分5%に向けて取り組む ※H28年度 現年度分96.12% 滞納分4.74%
達成状況	達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
財源見込	事業費	18,664	18,664	18,664	55,992
	国・県支出金				
	一般財源	18,664	18,664	18,664	55,992
	その他				

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
_____	

●総合戦略での事業の位置づけ

_____	_____
-------	-------

基本目標VI	手をとりあいともに歩むまち
3	時代に合った効率的な行政運営
人材の育成	

事業年度	》	29	30	31	》
------	---	----	----	----	---

事業名	職員研修事業
所管	総務課

●事業の内容

目的	時代の変化とともに多様化する行政要望に対し、限られた財源と人材で工夫して効率的に対応するため、職員研修を実施して人材育成を図る。	
事業の概要	串本町人財育成基本方針に基づき、事務の効率化、職員の資質の向上を図る。 特に和歌山県市町村職員研修協議会の研修を計画的に受講することで、業務遂行能力や専門業務に対応できる能力を養成する。	
成果目標	業務量の増加および人員減により研修に割ける時間は限られているが、一人一人の資質の向上を図り、事務の効率化を目指すため、計画年度期間中毎年度、和歌山県市町村職員研修協議会の一般研修、専門研修、特別研修の受講者を、全職員に対する割合で15%以上とする。	
達成状況		達成度

●事業費概算(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
事業費		670	670	670	2,010
財源見込	国・県支出金				
	一般財源	670	670	670	2,010
	その他				

●総合戦略での成果目標

指 標	改訂
――	

●総合戦略での事業の位置づけ

――	――
----	----



# 各課別事業一覽







担当課	産業課
合計事業数	33

No.	事業名	長計の項目	頁
1	農村地域防災減災事業	基本目標Ⅰ-1	P12
2	空き家利活用の推進事業	基本目標Ⅰ-3	P31
3	観光地・公共施設等へのWi-Fi整備	基本目標Ⅰ-6	P41
4	遊休農地活用支援事業	基本目標Ⅳ-1	P113
5	稲村農道新設事業	基本目標Ⅳ-1	P114
6	林道維持管理事業	基本目標Ⅳ-1	P115
7	種苗放流・磯根資源再生事業	基本目標Ⅳ-1	P116
8	漁業施設の維持管理推進事業	基本目標Ⅳ-1	P117
9	鳥獣害対策の強化事業	基本目標Ⅳ-1	P118
10	特産品・名産品のブランド化・販売力強化促進事業	基本目標Ⅳ-1	P119
11	紀州材利用定住促進住宅等建設費補助金事業	基本目標Ⅳ-1	P120
12	浜の活力再生プラン推進事業	基本目標Ⅳ-1	P121
13	6次産業化への支援事業	基本目標Ⅳ-1	P122
14	小売店舗等消費拡大事業	基本目標Ⅳ-2	P123
15	小規模利子補給事業	基本目標Ⅳ-2	P124
16	商工会等団体活動の支援	基本目標Ⅳ-2	P125
17	創業希望者・創業支援事業	基本目標Ⅳ-2	P126
18	地場産業育成及び観光事業等推進資金補助金事業	基本目標Ⅳ-2	P127
19	宿泊施設を中心とした観光産業の立地推進	基本目標Ⅳ-2	P128
20	水産関連企業の誘致推進	基本目標Ⅳ-2	P129
21	国道42号を活用した地域活性化事業	基本目標Ⅳ-3	P130
22	古民家リノベーション事業(ニューツーリズム等の育成支援)	基本目標Ⅳ-3	P131
23	広域観光連携推進事業	基本目標Ⅳ-3	P132
24	世界遺産・日本遺産・南紀熊野ジオパークと連携した観光推進	基本目標Ⅳ-3/V-2	P133
25	道の駅「くしもと橋杭岩」管理事業	基本目標Ⅳ-3	P134
26	インバウンド観光事業	基本目標Ⅳ-3	P135
27	ユニバーサルツーリズムの促進事業	基本目標Ⅳ-3	P136
28	移住交流促進事業	基本目標Ⅳ-4	P137
29	教育旅行推進事業	基本目標Ⅳ-5	P138
30	体験型観光客誘致事業	基本目標Ⅳ-5	P139
31	農業・林業・漁業働き手の確保支援	基本目標Ⅳ-6	P141
32	観光資源の保護活動	基本目標Ⅴ-2	P149
33	各種まつり・イベント等の開催支援	基本目標Ⅵ-1	P157



担当課	福祉課
合計事業数	26

No.	事業名	長計の項目	頁
1	特定健診事業	基本目標Ⅱ-1	P52
2	健康増進事業	基本目標Ⅱ-1	P53
3	がん検診事業	基本目標Ⅱ-1	P54
4	予防接種事業	基本目標Ⅱ-1/Ⅱ-4	P55
5	地域生活支援事業	基本目標Ⅱ-1	P57
6	福祉タクシー事業	基本目標Ⅱ-1	P58
7	障害者自立支援給付事業	基本目標Ⅱ-1	P59
8	身体心身障害者(児)福祉年金等支給事業	基本目標Ⅱ-1	P60
9	串本町社会福祉協議会助成事業	基本目標Ⅱ-1	P61
10	民生委員児童委員協議会助成事業	基本目標Ⅱ-1	P62
11	地域福祉計画策定事業	基本目標Ⅱ-1	P63
12	介護予防・地域支え合い事業	基本目標Ⅱ-2	P64
13	隣保館デイサービス事業	基本目標Ⅱ-2	P65
14	介護保険事業計画策定事業	基本目標Ⅱ-2	P66
15	串本町シルバー人材センター助成事業	基本目標Ⅱ-2	P67
16	全国健康福祉祭(ねんりんピック)和歌山大会開催準備事業	基本目標Ⅱ-2	P69
17	緊急通報システム運営事業	基本目標Ⅱ-2	P70
18	敬老会事業	基本目標Ⅱ-2	P71
19	一般不妊・不育治療費助成事業	基本目標Ⅱ-4	P74
20	マタニティ教室・離乳食教室等各種教室の支援整備事業	基本目標Ⅱ-4	P76
21	こんにちは赤ちゃん訪問事業	基本目標Ⅱ-4	P77
22	乳幼児健康診査事業	基本目標Ⅱ-4	P78
23	発達相談指導事業	基本目標Ⅱ-4	P79
24	家庭内育児支援事業	基本目標Ⅱ-4	P85
25	出産・子育て支援情報の一元化事業	基本目標Ⅱ-4	P87
26	老人クラブ助成事業	基本目標Ⅲ-2	P99













